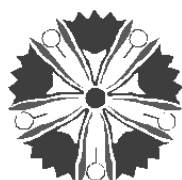


シニアレジデント（後期研修）プログラム 2012



岡山済生会総合病院
<http://www.okayamasaiseikai.or.jp/>



岡山済生会総合病院 理 念

あらゆる人々に手をさしのべる済生の心で
まことの医療奉仕につとめます

基本方針

1. 患者さんの権利を尊重し、良質の医療サービスを提供します
2. 先進的医療・がん診療・救急医療・へき地医療などの地域医療を推進し、拠点病院として活動します
3. 医療安全を重視し、危機管理を徹底します
4. 地域のニーズに応えるため、保健・医療・福祉のきずなを強めます
5. 済生の心を活かし、国際的視野に立って活動します
6. 職員の教育・研修に励み、患者と職員の満足度向上につとめます
7. 福祉医療を重視するとともに医療施策をよく理解し、健全経営につとめます
8. 人にやさしい地球環境の保全につとめます



岡山済生会総合病院概要

済生会は 1911 年、明治天皇の御心に沿って創立されて以来、弱者救済の目的で恩賜財団社会福祉法人として成長し現在に至っています。

岡山済生会総合病院は 553 床を有する総合病院で、保健・医療・福祉の充実、発展のために地域医療に貢献しており、岡山県の中核病院の一つです。当院は急性期病院としてとくに救急医療や緩和ケアを含むがん診療にも力を注いでおり、2002 年に岡山県で初めて地域がん診療連携拠点病院に指定されています。当院は以前から老人福祉施設をもち、またへき地での診療や検診、巡回診療船による離島検診などを行い、現在では岡山県へき地医療支援機構を担当しております。このように当院の診療における運営方針は、救急医療、がん診療、センター医療およびへき地医療の 4 本柱です。

名 称 : 岡山済生会総合病院

所在地 : 岡山県岡山市北区伊福町 1 丁目 17 番 18 号

開設者 : 社会福祉法人^{恩賜財団}済生会 支部岡山県済生会
支部業務担当理事 岩本一壽

管理者 : 院長 大原利憲

設 立 : 昭和 13 年 4 月

病床数 : 553 床 (一般 528 床、緩和 25 床)

診療科目 : 内科、小児科、外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、整形外科、形成外科、美容外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、精神科、神経科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科

診療指定 : 保険医療、労災、結核、生保、養育、戦傷病者、更生、育成、精神(通院)、原爆、公害、母体保護、助産、児童福祉、特定疾患、小児特定疾患、重度心身障害、アフターケア、後遺症再診断

救急医療 : 救急告示病院、二次救急医療病院群輪番制病院、岡山県南東部メディカルコントロール業務

教育指定 : 臨床研修指定病院、外国医師臨床修練指定病院

その他指定 : 地域がん診療連携拠点病院、岡山県へき地医療支援機構(運営主体病院)、岡山県へき地医療拠点病院、岡山県難病医療協力病院、災害拠点病院(地域災害医療センター)、エイズ拠点病院、開放型病院、DPC 対象病院、岡山県肝炎一次・二次専門医医療機関、肝炎治療特別促進事業実施医療機関、岡山県救命救急士病院実習受入促進事業実施医療機関、感染症法に基づく疑似症指定届出機関、臓器移植法による臓器提供施設、指定居宅

介護支援事業所、短期人間ドック施設、肺がん精密検診機関、乳がん精密検診機関、病院機能評価認定病院(一般病院 Ver. 6.0)

患者数（平成 22 年度 1 日あたり平均

：入院／ 481.1 名、 外来／ 1034.1 名

新入院患者数 : 12,199 人

平均在院数 : 14.5 日

救急外来患者数 : 26,650 件

救急車受け入れ数 : 3,690 件

年間手術件数 : 6,010 件

職員数 : 1,148 名（うち非常勤職員 209 名含む）

常勤医師 121 名、研修医 22 名、非常勤 42 名、計 185 名

敷地面積 : 7,093 m²

建物延面積 : 本館／21,134 m²、西館／9,241 m²、西 2 号館／2,122 m²、南館／1,349 m²

院内センター : 救急センター、内視鏡センター、腎臓病センター、糖尿病センター、肝臓病センター、がん化学療法センター、画像診断センター、リハビリテーションセンター、健診センター、地域医療連携センター

その他施設設備 : ヘリポート（本館屋上）、院内学級（入院中の小学生対象）、カルマ済生会（寮）、瀬戸内海巡回診療船（済生丸）、院内保育所、病児保育室

学会認定 :

日本内科学会認定医制度教育病院	日本肝胆膵外科学会高度技能医修練施設 A
日本肝臓学会認定施設	日本救急医学会救急科専門医指定施設
日本糖尿病学会認定教育施設	日本緩和医療学会認定研修施設
日本老年医学会認定施設	日本皮膚科学会認定医研修施設
日本腎臓学会研修施設	日本泌尿器科学会専門医教育施設
日本アフレスシス学会認定施設	日本整形外科学会専門医制度研修施設
日本透析医学会認定医制度認定施設	日本手の外科学会認定研修施設
日本腹膜透析研究会施設会員	日本形成外科学会認定研修施設
日本消化器病学会専門医制度認定施設	日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設
日本消化器内視鏡学会指導施設	日本眼科学会専門医制度研修施設
日本呼吸器内視鏡学会認定施設	日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
日本呼吸器学会認定施設	日本脳神経外科学会認定医訓練施設
日本臨床腫瘍学会認定研修施設	日本精神神経学会認定精神科専門医制度研修施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設	日本医学放射線学会放射線科専門医総合修練機関
日本循環器学会認定循環医専門医研修施設	日本 IVR 学会指導医修練施設
日本小児科学会専門医研修施設	日本麻酔科学会麻酔科認定病院
日本外科学会外科専門医制度修練施設	日本リハビリテーション医学会研修施設
日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設	日本病理学会病理専門医制度認定施設
日本大腸肛門病学会専門医修練施設	日本集中治療医学会専門医研修施設
JCOG (JapanClinicalOncologyGroup) 参加施設	日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設
日本消化器外科学会専門医修練施設	マンモグラフィ (乳房エックス線写真) 検診施設
日本呼吸器外科学会指導医制度関連施設	日本栄養療法推進協議会 NST 稼動認定施設
日本食道学会全国登録認定施設 (外科)	認定輸血検査技師制度指定施設

関連施設 :

施設名	所在地	概要
済生会吉備病院	岡山市北区高松原古才字上沼 584-1	開設日：平成 18 年 4 月 1 日 病床数：75 床 (一般病床 45 床、回復期リハビリ病床 30 床)
岡山療護センター (独立行政法人自動車事故対策機構からの委託運営)	岡山市北区西古松 2-8-35	開設日：平成 6 年 2 月 1 日 診療科：脳神経外科、精神科 病床数：50 床
岡山済生会健診センター、岡山済生会奉還町診療所	岡山市北区奉還町 2-13-18	開設日：平成 7 年 7 月 10 日 活動内容：人間ドック、健康診査、瀬戸内海巡回診療、へき地検診、市町村健診、産業医活動、健康教育、研究活動 等
岡山済生会昭和町健康管理センター、岡山済生会昭和町診療所	岡山市北区昭和町 12-15	1～2 階：「済生会フィットネス&カルチャークラブ」 3～4 階：健診施設「岡山済生会昭和町健康管理センター」
岡山済生会県庁内診療所	岡山市北区内山下 2-4-6 (岡山県庁内)	開設日：昭和 22 年 11 月 1 日 診療科：内科ほか
岡山済生会ライフケアセンター	岡山市北区国体町 3 番 12 号	開設日：平成 10 年 4 月 1 日 高齢者向け都市型複合施設 【入所施設】 ・たちばな苑／ユニット型介護老人保健施設 ・なでしこ苑／介護老人保健施設 ・みなみがた荘／特別養護老人ホーム ・やよいの里／軽費老人ホームケアハウス ・なごみ苑／住居型有料老人ホーム 【通所施設】 ・たちばな苑／デイケアセンター ・なでしこ苑／デイケアセンター ・みなみがた荘／デイサービスセンター 【在宅サービス】 ・岡山済生会訪問看護ステーション ・岡山済生会ヘルパーステーション ・みなみがた荘居宅介護支援事業所 ・岡山市中央地域包括支援センター (中央西サブセンター) 【医療施設】 ・岡山済生会国体町診療所
岡山済生会憩いの丘	岡山市北区日近 1807	開設日：昭和 47 年 5 月 1 日 特別養護老人ホーム「憩いの丘」 (140 名) 憩いの丘 デイサービスセンター 憩いの丘 在宅介護支援センター
岡山済生会看護専門学校	岡山市北区伊福町 2-17-5	開設日：昭和 33 年 9 月 1 日 課程：3 年養成課程 (高卒 3 年) 定員：150 名 (1 学年 50 名) 学生寮：寮母 2 名
岡山済生会事業部	岡山済生会総合病院内	開業日：昭和 30 年 9 月 売店及びレストラン
託児所 岡山済生会総合病院なでしこ保育園	岡山市北区伊福町 2-20-2	生後 2 ヶ月から 3 歳までの子どもを預る 午前 7：30～午後 7：00 まで
岡山済生会職員研修保養施設	瀬戸内市牛窓町牛窓 199-8	牛窓ブルーハイツ

シニアレジデント（後期研修）処遇と募集について

1. シニアレジデント（後期研修）の目標と特徴

各診療科に関連する学会の専門医（または認定医）を取得するために、必要な知識、技術、経験を修得することが研修目標である。

特徴として、より高度な知識や技術を修得するために、単独の診療科だけではなく、関連する診療科や他施設と連携したプログラムも用意しており、個別の希望にも柔軟に対応できる。診療業務は多忙であるが、教育熱心なスタッフが多く、優れた専門医を育成する環境がある。

2. 処 遇

1) 身 分

常勤（岡山済生会総合病院医員）

※勤務時間は、当院就業規則を適用。研修内容に基づき担当医長、医師の指導の下で入院、外来及び救急（時間外、休日、夜間）患者の診療に従事する。

2) 採用日

平成 24 年 4 月 1 日

3) 給与・手当等

・給与（年収、税込額）：

1 年目 約 600 万円～約 1,000 万円

2 年目 約 620 万円～約 1,050 万円

3 年目 約 640 万円～約 1,100 万円

4 年目 約 660 万円～約 1,150 万円

5 年目 約 680 万円～約 1,200 万円

（※但し、選択科目、日当直、時間外、手術の件数により金額は増減する。）

・賞与：年 3 回（夏期、冬期、期末）

・手当：通勤、日当直、住宅（賃貸のみ）、他

4) 学会等への参加

医師出張規則に基づき、以下のとおり出張扱い可

・演題・発表有の場合は回数制限無、旅費支給

・演題・発表無の場合は年 2 回のみ、旅費支給

5) その他

・医師賠償責任保険：施設として団体と個人で 2 億円既加入（協力病院と施設は大部分同様に加入しているが、一部に未加入があるので、日本医師会医師賠償責任保険に別に加入することを勧める）

- ・喫煙者は採用しない（病院敷地内禁煙）
- ・社会保険：健康保険、厚生年金の適用あり
- ・食事：職員食堂有（有料）

3. 募 集

本年度、当院が募集する研修コースは表1に示すとおりです。各コースの詳細については該当する診療科におたずね下さい。参考資料として、岡山大学のプログラムの中で当院が担当する場合があります。そのため、その一覧を巻末に付記していますが、それらのプログラムへの応募は受け付けていません。

1) 対 象

2年間の卒後臨床研修修了者または平成24年3月に卒後研修が修了見込みの医師を対象とする。

2) 応募人員

内科4名、外科3名、小児科1名、整形外科3名、泌尿器科1名、脳神経外科2名、緩和ケア1名、麻酔科3名、放射線科1名、救急科2名、眼科1名、形成外科1名、産婦人科1名 計24名

※詳細は表1「平成24年度シニアレジデントコース一覧」参照

3) 研修期間

表1のとおり

4) 選考方法

①小論文 ②性格能力適性検査 ③面接

5) 選考日時

決まり次第ホームページへ掲載します。

※提出期限

決まり次第ホームページへ掲載します。

※期限までの応募が難しい場合は、人事課にご連絡ください。

6) 応募書類

① 履歴書（巻末の当院所定用紙を利用し、自筆でご記入ください）

② 応募申込書（巻末の当院所定用紙）

※所定用紙は、当院ホームページよりダウンロード可能です。

③ 医師免許証の写

④ 上司もしくは指導者の推薦状

⑤ 学会発表または論文等の業績（あれば）

⑥ 健康診断書

※応募書類につきましては、個人情報保護の観点から適正かつ厳重な管理を致します。なお、応募書類は選考の用途以外の目的で利用することはありません。

7) 研修修了後について

コース修了後の進路については、各科診療科の定員に空席がある場合は採用される場合があります。そのほか希望者には他病院や大学医局を紹介します。

4. 応募・問い合わせ

〒700-8511

岡山県岡山市北区伊福町1丁目17番18号

岡山済生会総合病院人事課（担当：竹内・丹治）

Tel 086-252-2780（人事課直通）

Fax 086-255-2224

E-mail byouin@okayamasaiseikai.or.jp

URL <http://www.okayamasaiseikai.or.jp/>

10. 救急科 (定員 2 名)	救急科専門医コース	岡山大学病院 (救急部) と共同	5 年
11. 眼科 (定員 1 名)	眼科基本修得コース	岡山大学病院 (眼科) と共同	2 年
12. 形成外科 (定員 1 名)	形成外科基本習得コース	岡山済生会の単独	2 年
13. 産婦人科 (定員 1 名)	産婦人科専門医コース	岡山済生会の単独	3 年

シニアレジデントに期待すること

副院長 塩出 純二

2年間の初期臨床研修を終えこれからシニアレジデントになる方々に対しては、多くの医療機関からさまざまな期待が寄せられています。その中にはマンパワーを主とした期待もあるかもしれませんが、医師としての成長過程にある皆様方にはもう少し修練の場が必要であります。そのような考えのもとで、当院では責任ある人材育成のできる診療科あるいは部門だけがシニアレジデントを募集することにしています。当面の目標は学会認定の専門医になることとしていますが、それが当院だけで達成できるコースと当院以外の病院と共同で達成できるコースがあります。後者の場合は十分な連携をとりながら専門研修を行います。いずれにしても将来の日本の医療を担う人材を育成していくという広い視野に立って当院はその役割を果たそうと考えています。

私たちからシニアレジデントの方々に期待することは次の2点です。

1) チーム医療の実践

研修医の時は言わば指導医の保護の下に行っていた医療が、シニアレジデントになると主体的に行う医療へと変わります。受動から能動への変化は充実感や達成感がありますが、一方でいきなり種々の問題に直面することになり途惑いや責任の重さを痛感することと思います。昨今の医療安全の立場から研修医の医療行為の範囲はかなり厳密に制限されていますが、シニアレジデントになった途端それがなくなります。このギャップを埋めるためには、日頃からチーム医療の一員として積極的に参加し、いつでも相談できる人間関係を築いておくことが重要です。

2) 教えられる立場から教える立場へ

指導医—シニアレジデント—研修医という屋根瓦の要として、研修医や学生あるいはコメディカルスタッフの指導をしていただくこととなります。すなわち人材育成の一端を担っていただくこととなります。学習の最も効果的な方法は「教える」ことであると言われていますが、教えられる研修と同時に「教える」経験を通じて多くを学び、数年後の指導医を目指して頑張りたいと思います。

私たちの病院は研修・教育に対しては特に多くの人材や予算を注いでおり、人材育成に積極的な病院です。一緒に仕事をしてみようと思われる方はぜひ応募してみてください。

1. シニアレジデント（後期研修）プログラム 2012

内 科	13
1. 消化器内科専門医コース	
2. 腎臓透析専門医コース	
3. 糖尿病専門医コース	
4. 総合内科専門医コース	
5. 呼吸器内科専門医コース	
6. 腫瘍内科専門医コース	
7. 循環器内科専門医コース	
8. リウマチ専門医コース	
外 科	37
外科専門医コース	
小児科	42
1. 小児科専門医コース	
2. 小児神経科専門医コース	
整形外科	46
1. 整形外科基本修得コース	
2. 整形外科専門医コース	
泌尿器科	50
泌尿器科専門医コース	
脳神経外科	52
脳神経外科専門医コース	
緩和ケア科	55
緩和医療専門医コース	
麻酔科	57
麻酔科専門医コース	
放射線科	59
1. 放射線科専門医コース	
2. 放射線科基本習得コース	
救急科	63
救急科専門医コース	
眼 科	65
眼科基本修得コース	
形成外科	66
形成外科基本習得コース	
産婦人科	68
産婦人科専門医コース	

内 科

「1. 消化器内科専門医コース」「2. 腎臓透析専門医コース」「3. 糖尿病専門医コース」
「4. 総合内科専門医コース」「5. 呼吸器内科専門医コース」「6. 腫瘍内科専門医コース」
「7. 循環器内科専門医コース」「8. リウマチ専門医コース」
の8コース合計で、定員4名。

1. 消化器内科専門医コース

※「①岡山済生会総合病院の単独」、「②津山中央病院と共同」の2コース有り。

研修担当者名

塩出純二 副院長

共同研修施設名

津山中央病院



研修する医師に期待すること

医師として、一般社会人として、常識を備え協調性のある人を望みます。

修得できる専門医資格

日本内科学会認定医

日本消化器病学会専門医

日本消化器内視鏡学会専門医

研修プログラムの目指すもの

① 岡山済生会総合病院の単独コース（期間 4年）

1年目は日本内科学会認定医の研修プログラムに沿って、内科全般の症例を経験する。2年目に認定医試験を受験し取得後は、消化器内科専門医を目ざして、必要な症例や内視鏡、消化管造影、血管造影、エコー下穿刺などの検査手技を多数経験する。希望により放射線科、消化器外科や緩和ケアでの短期研修も可能である。4年間の研修終了時には日本消化器病学会専門医と日本消化器内視鏡学会専門医の受験に必要な研修項目を達成する。

② 津山中央病院と共同コース（期間 5年）

1年目は日本内科学会認定医の研修プログラムに沿って、内科全般の症例を経験する。2年目に内科認定医を取得後は、消化器内科専門医を目ざして、必要な症例や内視鏡、消化管造影、血管造影、エコー下穿刺などの検査手技を経験する。希望により放射線科、消化器外科や緩和ケアでの短期研修も可能である。2施設とも消化器疾患に関して岡山下では非常に多数例の経験がで

きる病院であるため、5年間の研修終了時には日本消化器病学会専門医と日本消化器内視鏡学会専門医の受験に必要な研修項目を達成し、消化器内科医として独り立ちできるものと考えている。

研修プログラム

① 岡山済生会総合病院の単独コース

1年目	2年目	3年目	4年目
岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院
内科一般と消化器 内科基本	主として消化器内科	主として消化器内科	消化器内科専門

② 津山中央病院と共同コース

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
岡山済生会病院	岡山済生会病院	津山中央病院	津山中央病院	岡山済生会病院
内科一般と消化器 内科基本	主として消化器内 科	主として消化器内 科	消化器内科専門	消化器内科専門

指導体制：

① 岡山済生会総合病院

内科指導医

- ・糸島達也（岡山大学 昭和39年卒）：日本内科学会認定医、指導医
日本消化器病学会専門医、指導医
日本消化器内視鏡学会専門医、指導医
日本肝臓病学会専門医、指導医
- ・塩出純二（自治医科大学 昭和53年卒）：日本内科学会認定医、専門医、指導医
日本消化器病学会専門医、指導医
日本消化器内視鏡学会専門医、指導医
- ・吉岡正雄（徳島大学 昭和59年卒）：日本内科学会認定医、専門医、指導医
日本消化器病学会専門医、指導医
日本消化器内視鏡学会専門医、指導医
- ・藤岡真一（岡山大学 平成元年卒）：日本内科学会専門医、指導医
日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医、指導医
日本肝臓病学会専門医、指導医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- ・藤原明子（島根大学 平成5年卒）：日本内科学会認定医、専門医、指導医
日本消化器病学会認定医・専門医
日本消化器内視鏡学会専門医
- ・石山修平（岡山大学 平成6年卒）：日本内科学会認定医・専門医・指導医

日本消化器病学会専門医

日本消化器内視鏡学会専門医

・伊藤 守（岡山大学 平成 8 年卒）：日本内科学会認定医・指導医

日本消化器内視鏡学会専門医・指導医

日本消化器病学会専門医

放射線科指導医

・戸上 泉（岡山大学 昭和 58 年卒）：日本医学放射線学会放射線科専門医

健診マンモグラフィ読影医

病理指導医

・能勢聡一郎（岡山大学 昭和 58 年卒）：日本病理学会認定医、指導医

日本臨床検査医学会臨床検査管理医

外科指導医

・大原利憲（岡山大学 昭和 46 年卒）：日本外科学会認定医・指導医・専門医

日本消化器外科学会認定医

日本消化器病学会認定医・専門医・指導医

呼吸器外科専門医合同委員会認定医

インフェクションコントロールドクター（ICD）認定

日本麻酔科学会認定医

・木村秀幸（岡山大学 昭和 47 年卒）：日本外科学会認定医・指導医・専門医

日本消化器外科学会認定医・指導医

日本消化器病学会認定医・専門医・指導医

日本大腸肛門病学会専門医・指導医

日本消化器内視鏡学会専門医

日本乳癌学会認定医

日本癌治療学会臨床試験登録医

日本臨床腫瘍学会暫定指導医

日本緩和医療学会暫定指導医

・三村哲重（岡山大学 昭和 48 年卒）：日本外科学会認定医・指導医・専門医

日本消化器外科学会認定医・指導医

日本消化器内視鏡学会専門医

日本消化器病学会認定医・専門医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

日本肝胆膵外科学会高度技能指導医

・西山宜孝（岡山大学 昭和 56 年卒）：日本外科学会認定医・専門医・指導医

日本消化器外科学会認定医・消化器がん外科治療認定医

日本乳癌学会認定医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

健診マンモグラフィ読影医

- ・赤在義浩（岡山大学 昭和 58 年卒）：日本外科学会認定医・専門医
日本消化器外科学会認定医
- ・高畑隆臣（自治医科大学 昭和 61 年卒）：日本外科学会終身認定医・専門医
- ・仁熊健文（岡山大学 昭和 61 年卒）：日本外科学会終身認定医・専門医・指導医
日本消化器外科学会認定医・専門医・指導医・消化器がん
外科治療認定医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本肝胆膵外科学会高度技能指導医
- ・片岡正文（岡山大学 昭和 61 年卒）：日本外科学会認定医・専門医・指導医
日本消化器外科学会認定医・専門医・消化器がん外科治療
認定医
呼吸器外科専門医合同委員会専門医
日本麻酔科学会認定医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本食道学会認定医・食道外科専門医
- ・木村臣一（岡山大学 昭和 63 年卒）：日本外科学会終身認定医・専門医・指導医
日本内視鏡外科学会技術認定医
日本消化器外科学会認定医・専門医・指導医・消化器がん
外科治療認定医
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
日本麻酔科学会認定医
- ・新田泰樹（愛媛大学 平成 2 年卒）：日本外科学会認定医・専門医
日本麻酔科学会認定医
- ・丸山昌伸（岡山大学 平成 10 年卒）：日本外科学会認定医・専門医
日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医
日本内視鏡外科学会専門医
日本消化器外科学会専門医・消化器がん外科治療認定医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- ・児島亨（岡山大学 平成 11 年卒）：日本外科学会認定医・専門医
日本消化器病学会専門医
日本消化器外科学会専門医
日本循環器学会専門医
- ・河本洋伸（岡山大学 平成 13 年卒）：日本外科学会認定医・専門医

② 津山中央病院

内科指導医

- ・藤木茂篤（岐阜大学 昭和 54 年卒）：日本内科学会認定医
日本消化器病学会専門医、指導医

- 日本消化器内視鏡学会専門医、指導医
- ・ 柘野浩史（大分大学 平成元年卒）：日本内科学会専門医
 - 日本消化器病学会専門医
 - 日本消化器内視鏡学会専門医
- ・ 平良明彦（岡山大学 平成4年卒）：日本内科学会認定医
 - 日本消化器内視鏡学会専門医
- ・ 竹中龍太（岡山大学 平成6年卒）：日本内科学会認定医
 - 日本消化器病学会専門医
 - 日本消化器内視鏡学会専門医、指導医
- ・ 竹本浩二（島根大学 平成6年卒）：日本消化器内視鏡学会専門医
- ・ 岡 岳文（鳥取大学 平成2年卒）：日本内科学会総合内科専門医
 - 日本内科学会認定医
 - 日本循環器学会専門医
 - 日本心臓リハビリテーション指導士
 - 日本医師会認定産業医
 - 日本医師会認定健康スポーツ医
- ・ 吉川昌樹（岡山大学 平成7年卒）：日本内科学会認定内科医
 - 日本循環器学会認定循環器専門医
 - 日本心血管インターベンション学会指導医

1 年間に 1 医師が経験できる症例数（検査数）とその内訳（4 年間の平均）

	岡山済生会総合病院
上部消化管内視鏡	250
大腸内視鏡	100
ERCP	20
ポリペクトミー/EMR	30
消化管出血	30
エコー下穿刺	20
血管造影	20

年間施行例数と 1 医師が経験できる症例数（検査数）の内訳（5 年間の平均）

	岡山済生会総合病院		津山中央病院	
	病院全体	1 医師の経験例	病院全体	1 医師の経験例
上部消化管内視鏡	7104	250	5590	300
大腸内視鏡	3150	100	2514	200
ERCP	322	20	279	20
ポリペクトミー・EMR	672	30	454	30
消化管出血	162	30	225	30
エコー下穿刺	230	20		
血管造影	280	20		

待遇 津山中央病院

給与（年次別の税込み年額：3 年目； 700 万～1,000 万 当直、時間外などで異なる）

宿舍の（）・無） 宿舍月額賃料（1 万円）

勤務形態：常勤

2. 腎臓透析専門医コース

※「①岡山済生会総合病院の単独」、「②しげい病院と共同」、「③重井医学研究所附属病院と共同」の3コース有。

期 間

4年

研修担当者名

平松 信 副院長、予防医学部長、腎臓病・糖尿病総合医療センター長

共同研修施設名

しげい病院、重井医学研究所附属病院

研修プログラムの目指すもの

1. 腎臓病学、透析医学、糖尿病学、膠原病学などに関する総合的臨床能力の修得
2. 日本腎臓学会専門医、日本透析医学会専門医等の資格取得
3. 専門医として独り立ちできるための学術的な研鑽

研修する医師に期待すること

医師として、教えられるだけでなく、自ら学ぶことの大切さを修得し、生涯学習へとつなげていく基礎をしっかりと学んで欲しい

修得できる専門医資格

日本腎臓学会専門医

日本透析医学会専門医

(日本糖尿病学会専門医も取得可能)

研修プログラム

① 岡山済生会総合病院の単独コース

1年目	2年目	3年目	4年目
岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院
内科基本 腎臓・透析基本	腎臓・透析専門 社会人選抜大学院入学も可能 腎移植については岡山医療センターにて研修		

② しげい病院、③ 重井医学研究所附属病院と共同コース

1年目		2年目	3年目	4年目
岡山済生会総合病院		②しげい病院、もしくは ③重井医学研究所附属病院		岡山済生会総合病院
内科 基本	腎臓・透析 基本	腎臓・透析 基本・専門		腎臓・透析専門 社会人選抜大学院入学も可能 腎移植については岡山医療センターにて研修

※日本腎臓学会、日本透析医学会への入学年度によっては、それぞれの専門医取得は5年目以降となることがあります。

指導体制：

① 岡山済生会総合病院 指導医

- ・平松 信（岡山大学 昭和48年卒）：日本内科学会認定内科医・指導医、中国地方会評議員
日本腎臓学会専門医・指導医、学術評議員
日本透析医学会専門医・指導医・評議員
外国医師臨床修練指導医、日本臨床免疫学会評議員
日本医工学治療学会理事・評議員、中国腎不全研究会理事
日本下肢救済・足病学会評議員
日本老年医学会代議員・指導医
- ・遠部恒人（岡山大学 昭和62年卒）：日本内科学会認定内科医・専門医、
日本腎臓学会専門医・指導医、日本透析医学会専門医
- ・丸山啓輔（香川医科大学 平成5年卒）：日本内科学会認定内科医・専門医、日本腎臓学会専門医
日本透析医学会専門医

糖尿病指導医

- ・中塔辰明（岡山大学 平成2年卒）：日本内科学会認定内科医・指導医
日本糖尿病学会研修指導医・専門医

病理指導医

- ・浜家一雄（岡山大学 昭和37年卒）：日本病理学会認定医、外国医師臨床修練指導医
- ・能勢聡一郎（岡山大学 昭和58年卒）：日本病理学会認定医・指導医
日本臨床検査医学会臨床検査管理医

② しげい病院（※日本腎臓学会・日本透析医学会認定施設） 指導医

- ・西本 弘（鳥取大学 昭和58年卒）：日本内科学会専門医、日本透析医学会専門医
日本消化器病学会専門医、日本肝臓学会肝臓専門医
- ・有元克彦（岐阜大学 昭和57年卒）：日本腎臓学会専門医
- ・丹田信也（川崎医科大学 平成元年卒）：日本内科学会専門医、日本腎臓学会専門医
日本透析医学会専門医

- ③ 重井医学研究所附属病院（※日本腎臓学会・日本透析医学会認定施設） 指導医
- ・瀧 正史（岡山大学 昭和 45 年卒）：日本腎臓学会指導医・学術評議員、日本透析医学会指導医
 - ・福島正樹（岡山大学 昭和 51 年卒）：日本腎臓学会指導医、日本透析医学会指導医
 - ・真鍋康二（岡山大学 昭和 56 年卒）：日本腎臓学会指導医、日本透析医学会指導医
 - ・荒木俊江（岡山大学 昭和 60 年卒）：日本透析医学会専門医
 - ・松原龍也（福井大学 平成 6 年卒）：日本腎臓学会指導医、日本透析医学会指導医

年度毎に 1 医師が経験できる症例数（手術数）とその内訳

① 岡山済生会総合病院：

腎疾患・透析 入院 50 例 外来 100 例

年間腎生検件数…約 70 件、年間慢性維持透析導入総患者数…約 80 名

血液透析患者数…54 名（平成 23 年 4 月）

腹膜透析患者数…65 名（平成 23 年 4 月）

アフレスリス回数…120 件/年

（血漿交換療法、LDL 吸着療法、エンドトキシン吸着療法、
ビリルビン吸着療法、白血球吸着療法、腹膜濾過濃縮再静注法など）

平成 21 年度膠原病関連疾患患者数

全身性エリテマトーデス…75 名	強皮症・皮膚筋炎及び多発性筋炎…35 名
結節性動脈周囲炎…18 名	悪性関節リウマチ…3 名
混合性結合組織病…8 名	ウェゲナー肉芽腫症…2 名

② しげい病院：

腎臓…約 3 例 透析…約 10 例

③ 重井医学研究所附属病院：症例数…約 100 例（入院 50 例、外来 50 例）

待 遇

② しげい病院

給与（年次別の税込み年額：4 年目；約 794.5 万 6 年目；約 960 万）

宿舎 有 宿舎月額賃料 1 万円（6 万円は病院負担）

勤務形態：常勤

③ 重井医学研究所附属病院

給与（年次別の税込み年額：4 年目；約 794.5 万＋諸手当 6 年目；約 960 万）

宿舎 有

宿舎月額賃料 1 万円（6 万円は病院負担）

勤務形態：常勤、他施設での非常勤勤務や当直を行うことは不可

3. 糖尿病専門医コース

※「①岡山済生会総合病院の単独」、「②岡山大学大学院 腎臓・糖尿病・内分泌内科（第三内科）との共同」、「③三豊総合病院と共同」の3コースあり。

期 間

4年

研修担当者名

中塔辰明 内科医長、糖尿病センター長

共同研修施設名

岡山大学大学院 腎臓・糖尿病・内分泌内科（第三内科）
三豊総合病院

研修プログラムの目指すもの

糖尿病専門医として必要な幅広い知識・技術を身に付けた医師を目指す。糖尿病専門医の資格取得が可能なコースである。

研修する医師に期待すること

糖尿病診療はチーム医療の上に成り立っています。糖尿病専門医はチームリーダーとしての役割を果たすことが求められています。医学的知識・技術の向上とともに、人間性を高め、見識を磨くことが大切です。

修得できる専門医資格

日本内科学会認定医
日本糖尿病学会専門医

研修プログラム

① 岡山済生会総合病院の単独コース

1年目	2年目	3年目	4年目
岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院
内科一般	糖尿病内科基本	糖尿病内科専門	

② 岡山大学大学院 腎臓・糖尿病・内分泌内科（第三内科）との共同コース

1年目	2年目	3年目	4年目
岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院	岡山大学大学院	
内科一般	糖尿病内科基本	糖尿病内科専門	糖尿病内科専門

③ 三豊総合病院と共同コース

1年目	2年目	3年目	4年目
岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院	三豊総合病院	
内科一般	糖尿病内科基本	糖尿病内科専門	糖尿病内科専門

指導体制：

① 岡山済生会総合病院 指導医

- ・ 中塔辰明 (岡山大学 平成 2 年卒) : 糖尿病専門医・指導医
- ・ 平櫛恵太 (兵庫医科大学 平成 5 年卒) : 糖尿病専門医
- ・ 北村卓也 (岡山大学 平成 8 年卒) : 糖尿病専門医・指導医

② 岡山大学大学院 腎臓・糖尿病・内分泌内科 (第三内科) 指導医

- ・ 槇野博史 (岡山大学 昭和 50 年卒) : 糖尿病専門医・指導医
- ・ 四方賢一 (岡山大学 昭和 60 年卒) : 糖尿病専門医・指導医
- ・ 和田 敦 (岡山大学 昭和 63 年卒) : 糖尿病専門医
- ・ 小川大輔 (産業医科大学 平成 8 年卒) : 糖尿病専門医
- ・ 佐藤千景 (愛媛大学 平成 11 年卒) : 糖尿病専門医

③ 三豊総合病院 指導医

- ・ 米井泰治 (岡山大学 平成 2 年卒) : 糖尿病専門医・指導医
- ・ 余財享介 (関西医科大学 平成 9 年卒) : 糖尿病専門医

年度毎に 1 医師が経験できる症例数とその内訳

① 岡山済生会総合病院

症例数：約 300 例

内訳：糖尿病教育入院 140 例、教育入院以外の糖尿病合併症症例 160 例

② 岡山大学大学院 腎臓・糖尿病・内分泌内科 (第三内科)

症例数：約 300 例

内訳：糖尿病教育入院 140 例、教育入院以外の糖尿病合併症症例 160 例

③ 三豊総合病院

症例数：約 300 例

内訳：糖尿病教育入院 140 例、教育入院以外の糖尿病合併症症例 160 例

待 遇

② 岡山大学大学院 腎臓・糖尿病・内分泌内科 (第三内科)

勤務形態：医員

③ 三豊総合病院

給与 (年次別の税込み年額： 3 年目 約 1,100 万円 4 年目 約 1,140 万円)

宿舎 (有)・無) 宿舎月額賃料 (約 2 万円)

勤務形態：常勤職員

4. 総合内科専門医コース

※「①岡山済生会総合病院の単独」「②しげい病院と共同」、「③赤磐医師会病院と共同」、「④高梁中央病院と共同」の4コース有。

期 間

4年、5年

研修担当者名

塩出純二 副院長

共同研修施設名

しげい病院、赤磐医師会病院、高梁中央病院

研修プログラムの目指すもの

内科専門医の資格を取得するだけでなく、実際に地域医療を経験して必要と考えられる内科以外の科についても研修することができるプログラムである。

1年目は日本内科学会認定医の研修プログラムに沿って、内科全般の症例を経験し、2年目に認定医取得後は、内科の各分野を4～6ヶ月毎にローテートし、さらに専門的な研修を行う。4年目には共同研修施設で一般内科医として勤務し実際の地域医療を経験する。5年目は希望によりさらに専門性を高めた内科研修のほかに小児科、皮膚科、放射線科など内科以外の科についても短期間研修することができる。5年間の研修終了時には日本内科学会専門医の受験に必要な研修項目を達成する。3年目と4年目の順番は人数や施設の事情で入れ替わることがある。

研修する医師に期待すること

医師として、一般社会人として、常識を備え協調性のある人を望みます。

修得できる専門医資格

① しげい病院

日本内科学会認定医、専門医

日本腎臓学会専門医

日本透析医学会専門医

② 赤磐医師会病院

日本内科学会認定医、専門医

日本消化器病学会認定専門医（認定施設）

日本消化器内視鏡学会認定専門医（指導施設）

③ 高梁中央病院

日本内科学会認定医、専門医

研修プログラム

※① しげい病院、② 赤磐医師会病院、③ 高梁中央病院 と共同コース

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
岡山済生会病院	岡山済生会病院	岡山済生会病院	※共同研修施設	岡山済生会病院
内科一般	呼吸器、消化器、 糖尿病	循環器、腎臓、膠 原病	内科一般	選択（小児科、皮 膚科、放射線科な ど含む）

※岡山済生会単独は、4年間のプログラムになります。

指導体制：

岡山済生会総合病院 指導医

- ・平松 信（岡山大学 昭和48年卒）：日本内科学会認定内科医・指導医、中国地方会評議員
日本腎臓学会専門医・指導医、学術評議員
日本透析医学会専門医・指導医・評議員
外国医師臨床修練指導医
- ・塩出純二（自治医科大学 昭和53年卒）：日本内科学会認定医、専門医、指導医
日本消化器病学会専門医、指導医
日本消化器内視鏡学会専門医、指導医
- ・六車 満（岡山大学 昭和57年卒）：日本内科学会認定内科医、総合内科専門医、指導医
日本呼吸器学会呼吸器専門医
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医、指導医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
ICD 協議会認定インフェクションコントロールドクター
- ・池田修二（岡山大学 昭和57年卒）：日本内科学会認定医、指導医
日本腎臓学会専門医、指導医
日本人間ドック学会認定医、専門医
日本医師会認定産業医
- ・井原敬子（広島大学 昭和57年卒）：日本内科学会認定医、専門医、指導医
日本循環器学会専門医
日本医師会認定産業医
- ・吉岡正雄（徳島大学 昭和59年卒）：日本内科学会認定医、専門医、指導医
日本消化器病学会専門医、指導医
日本消化器内視鏡学会専門医、指導医
- ・近藤 淳（岡山大学 昭和62年卒）：日本内科学会認定医、指導医
- ・藤岡真一（岡山大学 平成元年卒）：日本内科学会専門医、指導医
日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医、指導医
日本肝臓病学会専門医、指導医
- ・中塔辰明（岡山大学 平成2年卒）：日本内科学会認定医、指導医

日本糖尿病学会専門医、指導医

- ・川井治之（岡山大学 平成4年卒）：日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医
日本がん治療認定医機構暫定教育医・がん治療認定医
日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医
日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・指導医・評議員
日本禁煙学会 禁煙専門医
- ・藤原明子（島根大学 平成5年卒）：日本内科学会認定医、専門医、指導医
日本消化器病学会認定医
日本消化器内視鏡学会専門医
- ・丸山啓輔（香川医科大学 平成5年卒）：日本内科学会認定内科医・専門医、日本腎臓学会専門医
日本透析医学会専門医
- ・石山修平（岡山大学 平成6年卒）：日本内科学会認定医、専門医
日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医

① しげい病院 指導医

- ・西本 弘（鳥取大学 昭和58年卒）：日本内科学会専門医
日本透析医学会専門医
日本消化器病学会専門医
日本肝臓学会肝臓専門医
- ・丹田信也（川崎医科大学 平成元年卒）：日本内科学会専門医
日本腎臓学会専門医
日本透析医学会専門医

② 赤磐医師会病院 指導医

- ・川口憲二（岡山大学 昭和49年卒）：日本消化器病学会専門医
日本内科学会認定医
日本肝臓学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医
- ・柚木直子（藤田保健衛生大学 昭和63年卒）：日本内科学会認定医
日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医、指導医
- ・緒方正敏（愛媛大学 平成4年卒）：日本内科学会認定専門医
日本消化器病学会専門医

③ 高梁中央病院 指導医

- ・中村隆資（岡山大学 昭和59年卒）：日本消化器内視鏡学会専門医
- ・加藤倫裕（鳥取大学 昭和58年卒）：日本外科学会外科認定医
- ・志茂公洋（岡山大学 平成元年卒）：日本内科学会認定内科医

日本消化器病学会消化器病専門医

日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医

岡山済生会総合病院内科の年間症例数

常勤医師 38 名

入院患者数	5014
新外来患者数	14540
救急患者数	2174
1 日平均外来患者数	349.2
平均在院日数	17.9

入院症例の内訳（重複あり）

・消化器	2284
消化管	1239
肝	792
胆膵	309
・呼吸器	873
・循環器	173
・腎臓	479
・膠原病	85
・糖尿病	311
・血液	66
・感染症	113
・中毒	37

1 年間に 1 医師が経験できる症例数（5 年間の平均）

入院受け持ち症例数：約 300 例（重複あり）

① しげい病院の年間症例数

腎臓 約 3 例

透析 約 10 例

② 赤磐医師会病院で 1 人の医師が経験できる症例数（年間）

内訳：病院実施検査数

上部消化管内視鏡検査 1,500 例

下部消化管内視鏡検査 700 例

腹部超音波検査 800 例 など

このうち 1/3 の件数を経験可能

③ 高梁中央病院で経験できる症例数（年間）

上部消化管内視鏡検査 1,600 例

下部消化管内視鏡検査 500 例

腹部超音波検査 2,900 例

入院受け持ち症例数 100 例（重複有り）

待 遇

① しげい病院

給与（税込み年額：4 年目；794.5 万円 6 年目；960 万円）

宿舎あり：賃料 1 万円（病院負担 6 万円）

勤務形態：常勤

② 赤磐医師会病院

給与（税込み年額）免許取得後 初年度 1000 万円

宿舎あり：宿舎月額賃料 1 万円

勤務形態：常勤

③ 高梁中央病院

給与（税込み年額：4 年目； 1,200 万円）

宿舎あり：無料

勤務形態：常勤

5. 呼吸器内科専門医コース

岡山済生会総合病院の単独のみ。

研修担当者名

六車 満 内科診療部長

研修する医師に期待すること

医師として、一般社会人として、常識を備え、協調性のある人で、非喫煙者を望みます。

修得できる専門医資格

日本内科学会認定医

日本呼吸器学会専門医

日本呼吸器内視鏡学会専門医

<可能ならば目指す>

日本がん治療認定医機構 がん治療認定医

研修プログラムの目指すもの

1. 呼吸器内科医、呼吸器内視鏡医、がん治療医としての臨床能力の修得
2. 日本呼吸器学会専門医、日本呼吸器内視鏡学会専門医等の資格取得
3. 専門医として独り立ちできるための学術的な研鑽・学会発表
4. 可能ならば、がん治療認定医等の資格取得も目指す。

研修プログラム

呼吸器内科専門医コース

1年目	2年目	3年目	4年目
岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院
内科一般と呼吸器内科 基本	主として呼吸器内科	主として呼吸器内科	呼吸器内科専門

指導体制：

岡山済生会総合病院

呼吸器内科指導医

- ・六車 満（岡山大学 昭和57年卒）：日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医
日本呼吸器学会呼吸器専門医
日本呼吸器内視鏡学会認定気管支鏡専門医・指導医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
ICD 協議会認定インфекションコントロールドクター

- ・川井治之（岡山大学 平成 4 年卒）：日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医
日本がん治療認定医機構暫定教育医・がん治療認定医
日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医
日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・指導医・評議員
日本禁煙学会 禁煙専門医

- ・渡辺一彦（川崎医科大学 平成 5 年卒）：日本内科学会認定内科医
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医

放射線科指導医

- ・戸上 泉（岡山大学 昭和 58 年卒）：日本医学放射線学会放射線科専門医
健診マンモグラフィ読影医

病理指導医

- ・能勢聡一郎（岡山大学 昭和 58 年卒）：日本病理学会認定医、指導医

※ 外来と入院を合わせると、肺癌、感染症、アレルギー疾患、間質性肺炎、その他び慢性肺疾患など呼吸器内科医として経験の必要なほとんどの疾患をみることができる。

また、胸部画像の読み方、気管支鏡・胸腔鏡の検査および治療手技、呼吸不全の管理等、必要な技術を習得できる。

呼吸器疾患入院症例のうち主なもの

	1年間の症例数	年度毎に1医師が経験できる症例数
肺癌総数	約 200	約 50
肺癌 化学療法施行例	約 50	約 40
肺癌 放射線療法施行例	約 20	約 20
肺炎	約 500	約 100
気管支喘息発作	約 10	約 10
慢性閉塞性肺疾患急性増悪	約 20	約 10
間質性肺炎	約 20	約 10

年間症例数

気管支鏡検査：200 例前後、年度毎に 1 医師が経験できる症例数 約 100 例

胸腔鏡検査：数例

6. 腫瘍内科専門医コース

岡山大学大学院 血液・腫瘍・呼吸器・アレルギー内科（第2内科）と共同。

研修担当者名

川井治之 がん化学療法センター長

研修する医師に期待すること

医師として、一般社会人として、常識を備え、協調性のある人で、非喫煙者を望みます。

修得できる専門医資格

日本内科学会認定医

日本がん治療認定医機構 がん治療認定医

日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医

研修プログラムの目指すもの

1. がん治療医としての臨床能力の修得
2. 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医、日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医等の資格取得
3. 専門医・認定医として独り立ちできるための学術的な研鑽・学会発表・論文作成
4. 可能なら他のサブスペシャリティの専門医の取得（日本血液病学会専門医・日本乳癌認定医・日本消化器病学会認定医等）

研修プログラム

呼吸器内科専門医コース

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院 or 岡山大学第2内科	岡山済生会総合病院 or 岡山大学第2内科	岡山済生会総合病院 or 岡山大学第2内科
内科一般と腫瘍内科基本	主として腫瘍内科/肺癌を中心に	主として腫瘍内科/乳癌・消化器癌等の経験	造血器腫瘍・肺癌等を岡山大学で	造血器腫瘍・肺癌等を岡山大学で

指導体制：

岡山済生会総合病院

内科指導医

- ・川井治之（岡山大学 平成4年卒）：日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医
日本がん治療認定医機構暫定教育医・がん治療認定医
日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医
日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・指導医・評議員
日本禁煙学会 禁煙専門医

外科指導医

- ・木村秀幸（岡山大学 昭和 47 年卒）：日本外科学会認定医・指導医・専門医
日本消化器外科学会認定医・指導医
日本消化器病学会認定医・専門医・指導医
日本大腸肛門病学会専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会専門医
日本乳癌学会認定医
日本癌治療学会臨床試験登録医
日本臨床腫瘍学会暫定指導医
日本緩和医療学会暫定指導医
- ・片岡正文（岡山大学 昭和 61 年卒）：日本外科学会認定医・専門医・指導医
日本消化器外科学会認定医・専門医・消化器がん外科治療認定医
呼吸器外科専門医合同委員会専門医
日本麻酔科学会認定医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本食道学会認定医・食道外科専門医

放射線科指導医

- ・安井光太郎（岡山大学 昭和 62 年卒）：日本医学放射線学会放射線科専門医
日本 IVR 学会専門医
日本核医学会認定医
日本がん治療認定医・暫定教育医

泌尿器科指導医

- ・赤澤信幸（日本医科大学 昭和 52 年卒）：日本泌尿器科学会専門医・指導医
日本性機能学会専門医

ICD

岡山大学病院

血液・腫瘍・呼吸器・アレルギー内科指導医

- ・谷本光音教授

7. 循環器内科専門医コース

岡山済生会総合病院の単独のみ。

期 間

3年

研修担当者名

小松原 一正 内科主任医長

研修する医師に期待すること

医師として、一般社会人として、常識を備え協調性のある人を望みます。

修得できる専門医資格

日本循環器学会認定循環器専門医

日本超音波学会認定超音波専門医

日本心臓リハビリテーション学会指導医

日本内科学会認定医（内科学会専門医は初期研修病院によっては可能）

研修プログラムの目指すもの

循環器部門の非侵襲的・侵襲的な検査や治療に日常的に関わりを深め、循環器専門医として必要な幅広い知識と技術を身につけた医師の育成を目指す。

循環器学会認定専門医の習得

研修プログラム

循環器内科専門医コース

1年目	2年目	3年目
循環器全般	循環器全般	循環器全般

※希望があれば岡山大学循環器内科、心臓病センター榊原病院での研修可能

年次別研修目標

1年次:心エコー・負荷テスト等の非侵襲的検査に習熟し、急性期疾患の対応ができるようになる

冠動脈造影検査・PCI・EPS・ペースメーカー移植術に参加する。

2年次:冠動脈造影検査が独立して行えるようになる。

PCI・EPS・ペースメーカー移植術の指導を受ける。

3年次:PCI・EPS・ペースメーカー移植術の術者になる。

ACSの処置・治療を独立して行えるようになる。

指導体制：

- ・近藤 淳（岡山大学 昭和年卒）：日本内科学会指導医・認定内科医
- ・武田 賢治（日本医科大学 平成2年卒）：日本循環器学会認定循環器専門医
日本超音波学会超音波専門医
日本内科学会認定内科専門医
日本心臓リハビリテーション学会心臓リハビリテーション
指導医
- ・小松原 一正（長崎大学 平成2年卒）：日本循環器学会認定循環器専門医
日本インターベンション治療学会指導医
日本内科学会認定総合内科専門医

年度毎に1医師が経験できる症例数（手術数）とその内訳

- 心臓カテーテル検査 約300例
- 冠動脈 STENT 留置術 約100例
- 末梢動脈 STENT 留置 約50例
- ペースメーカー埋め込み術 約10例
- 心臓超音波検査 約2000例

8. リウマチ専門医コース

※「①岡山済生会総合病院の単独」「②岡山大学病院 リウマチ・膠原病内科と共同」の2コースあり。

期 間

4年

研修担当者名

山村昌弘 内科診療部長、リウマチ・膠原病センター長

共同研修施設名

岡山大学病院 リウマチ・膠原病内科（岡山大学大学院腎・免疫・内分泌代謝内科）

研修プログラムの目指すもの

リウマチ・膠原病診療の高度な専門知識・技能と、幅広い総合診療技能を兼ね備えた新しい時代の「リウマチ専門医」の育成を目指す。研修期間を通して、患者全体像を的確に把握し、医学的エビデンスに立脚した系統的思考過程により問題点を解決する臨床能力を涵養する。

研修する医師に期待すること

専門性の高い難治性疾患に対して高度医療を率先して実践することが求められています。最新知識・技能の習得に努力すると同時に、病気に悩む患者を診る豊かな人間性・感性を育むことが大切です。

修得できる専門医資格

日本内科学会認定医・総合内科専門医

日本リウマチ学会専門医

研修プログラム

① 岡山済生会総合病院の単独コース

1年目	2年目	3年目	4年目
岡山済生会総合病院			
内科全般 リウマチ・膠原病		リウマチ・膠原病 関節エコー・関節鏡検査	

② 岡山大学病院 リウマチ・膠原病内科との共同コース

1年目	2年目	3年目	4年目
岡山済生会総合病院		岡山大学病院 リウマチ・膠原病内科	
内科全般 リウマチ・膠原病		リウマチ・膠原病 社会人選抜大学院入学の可能	

指導体制：

① 岡山済生会総合病院 指導医

- ・ 山村昌弘（信州大学 昭和 56 年卒）：日本内科学会認定内科医・指導医
日本リウマチ学会専門医・指導医、評議員
日本アレルギー学会専門医
日本老年医学会専門医・指導医
- ・ 藤井俊宏（岡山大学 平成元年卒）：日本リハビリテーション医学会認定臨床医・専門医・指導責任者
日本リウマチ学会専門医
日本整形外科学会スポーツ医

② 岡山大学病院 リウマチ・膠原病内科 指導医

- ・ 槇野博史（岡山大学 昭和 50 年卒）：日本リウマチ学会専門医・指導医、評議員
- ・ 佐田憲映（岡山大学 平成 9 年卒）：日本リウマチ学会専門医
- ・ 若林 宏（浜松医科大学 平成 9 年卒）：日本リウマチ学会専門医

年度毎に 1 医師が経験できる症例数とその内訳

疾患	外来	入院
関節リウマチ	303	114
全身性エリテマトーデス	132	28
全身性強皮症	114	10
多発性筋炎・皮膚筋炎	36	8
シェーグレン症候群	157	27
血管炎症候群	57	19
その他	208	36

待 遇

② 岡山大学病院 リウマチ・膠原病内科

勤務形態：医員

外 科

「外科専門医コース」に、①岡山済生会の単独コース、②OASIS（心大血管系病院を含む）と共同コース、③心臓病センター榊原病院と共同コースの3コース合計で、定員3名。

外科専門医コース

- ① 岡山済生会の単独（3年）
- ② OASIS（心大血管系病院を含む）と共同（2～3年）
- ③ 心臓病センター榊原病院と共同（3年）

3コースある。

※OASIS:岡山大学第1外科が主催する、医師のリクルートと研修の支援などを行っている団体で、中四国の岡山大学第1外科関連病院の医師が属しており、岡山済生会総合病院外科スタッフもそれに属している。

研修担当者名

大原利憲 院長

共同研修施設名

OASIS（心大血管系病院を含む）、
心臓病センター榊原病院



プログラムの目指すもの

- ① 岡山済生会の単独コース（3年）
後期研修3年間で外科専門医の習得をめざす。心大血管病の修練が不十分な場合は他施設研修をコース終了後受けることとなる。
- ② OASIS（心大血管系病院を含む）と共同コース（2～3年）
当院では後期研修2～3年間で外科専門医の習得をめざす。外科診療全般の幅広い知識・技術を身に付けた医師を目指す。済生会病院においては、一般外科と各領域の癌の外科治療と救急疾患の症例を中心にまなび、その後共同研修病院にて2～3年間ずつ研修をつづけ、4～5年間で終了する。
- ③ 心臓病センター榊原病院と共同コース（3年）
後期研修3年間で外科専門医の習得をめざす。外科診療全般の幅広い知識・技術を身に付けた医師を目指す。済生会病院において、癌の外科治療と救急疾患の症例を中心に学び、榊原病院での研修期間3ヶ月は心大血管系の研修を受ける。

研修する医師に期待すること

初期研修では、放射線画像の読影や麻酔科・ICUなどでの管理と外科の基本的な手技を習得しておくことが望ましい。臨床においての協調性、さらに学問に対する熱意のある医師を望む。

研修プログラム

① 岡山済生会の単独コース

3年間で岡山済生会病院外科でローテーションする方法。

② OASIS と共同コース

1年目	2年目	3年目	4年目
岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院	E病院（修練施設）	E病院（修練施設）
外科一般 消化器外科 呼吸器外科	乳腺外科 消化器外科	外科一般 消化器外科 心血管外科	消化器外科 呼吸器外科

③ 心臓病センター榊原病院と共同コース

1年目	2年目	3年目
岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院	心臓病センター榊原病院 岡山済生会総合病院
消化器外科 呼吸器外科	乳腺外科 消化器外科	心血管外科 消化器外科

※ 榊原病院は3ヶ月

修得できる専門医資格

日本外科学会専門医

指導体制：

岡山済生会総合病院 指導医

- ・大原利憲（岡山大学 昭和46年卒）：日本外科学会認定医・指導医・専門医
日本消化器外科学会認定医
日本消化器病学会認定医・専門医・指導医
呼吸器外科専門医合同委員会認定医
インフェクションコントロールドクター（ICD）認定
日本麻酔科学会認定医
- ・木村秀幸（岡山大学 昭和47年卒）：日本外科学会認定医・指導医・専門医
日本消化器外科学会認定医・指導医
日本消化器病学会認定医・専門医・指導医
日本大腸肛門病学会専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会専門医
日本乳癌学会認定医

- 日本癌治療学会臨床試験登録医
 - 日本臨床腫瘍学会暫定指導医
 - 日本緩和医療学会暫定指導医
- ・三村哲重（岡山大学 昭和 48 年卒）：日本外科学会認定医・指導医・専門医
 日本消化器外科学会認定医・指導医
 日本消化器内視鏡学会専門医
 日本消化器病学会認定医・専門医
 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
 日本肝胆膵外科学会高度技能指導医
- ・西山宜孝（岡山大学 昭和 56 年卒）：日本外科学会認定医・専門医・指導医
 日本消化器外科学会認定医・消化器がん外科治療認定医
 日本乳癌学会認定医
 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
 健診マンモグラフィ読影医
- ・赤在義浩（岡山大学 昭和 58 年卒）：日本外科学会認定医・専門医
 日本消化器外科学会認定医
- ・高畑隆臣（自治医科大学 昭和 61 年卒）：日本外科学会終身認定医・専門医
- ・仁熊健文（岡山大学 昭和 61 年卒）：日本外科学会終身認定医・専門医・指導医
 日本消化器外科学会認定医・専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医
 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
 日本肝胆膵外科学会高度技能指導医
- ・片岡正文（岡山大学 昭和 61 年卒）：日本外科学会認定医・専門医・指導医
 日本消化器外科学会認定医・専門医・消化器がん外科治療認定医
 呼吸器外科専門医合同委員会専門医
 日本麻酔科学会認定医
 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
 日本食道学会認定医・食道外科専門医
- ・木村臣一（岡山大学 昭和 63 年卒）：日本外科学会終身認定医・専門医・指導医
 日本内視鏡外科学会技術認定医
 日本消化器外科学会認定医・専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医
 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
 日本麻酔科学会認定医
- ・新田泰樹（愛媛大学 平成 2 年卒）：日本外科学会認定医・専門医
 日本麻酔科学会認定医
- ・丸山昌伸（岡山大学 平成 10 年卒）：日本外科学会認定医・専門医
 日本消化器病学会専門医

日本消化器内視鏡学会専門医

日本内視鏡外科学会専門医

日本消化器外科学会専門医・消化器がん外科治療認定医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

・児島亨（岡山大学 平成 11 年卒）：日本外科学会認定医・専門医

日本消化器病学会専門医

日本消化器外科学会専門医

日本循環器学会専門医

・河本洋伸（岡山大学 平成 13 年卒）：日本外科学会認定医・専門医

年度毎に 1 医師が経験できる症例数（手術数）とその内訳

年間の経験できる症例数（手術数）：約 300 例

内訳：

		外科全体年間症例数	1医師の経験数（平均）
消化管および腹部内臓	食道	20	10
	胃・十二指腸	170	40
	小腸・虫垂・結腸	250	60
	直腸・肛門	80	20
	肝・胆道・膵臓	400	100
	脾臓	5	2
	腹腔・腹膜・後腹膜	20	5
乳腺		90	30
呼吸器		100	50
心臓・大血管		6	3
末梢血管		30	10
頭頸部・体表・内分泌外科		30	10
小児外科		30	10
各臓器の外傷		10	3
鏡視下手術		300	50

外科専門医コースを修了後に（終了見込の時点）試験をして、アドバンスドコース（①消化器外科専門医コース、②呼吸器外科専門医コース、③乳腺外科認定医コース、など）の研修医を採用する。

定員はすべてのコース合わせて2名とする。

- ① 消化器外科専門医コース（2年間）
目標：日本消化器外科学会専門医の取得
- ② 呼吸器外科専門医コース（2年間）
目標：日本呼吸器外科専門医の取得
- ③ 乳腺外科認定医コース（2年間）
目標：日本乳癌学界認定医の取得

研修プログラムの目指すもの

- ① 消化器外科専門医コース
後期研修3年間で外科専門医を習得し、さらに消化器外科の専門医をめざす。外科診療全般の幅広い知識・技術を身に付けた医師を目指す。2年間で一般外科と消化器領域の癌の外科治療と救急疾患の症例も学びながら、消化器外科に専念できる体制とする。
- ② 呼吸器外科専門医コース
後期研修3年間で外科専門医を習得し、さらに呼吸器外科の専門医をめざす。外科診療全般の幅広い知識・技術を身に付けた医師を目指す。
- ③ 乳腺外科認定医コース
後期研修3年間で外科専門医を習得し、さらに乳腺外科の認定医をめざす。外科診療全般の幅広い知識・技術を身に付けた医師を目指す。2年間済生会病院においては、一般外科と各領域の癌の外科治療と救急疾患の症例も学び、外科のみでなく、乳癌診療に必要な放射線画像診断・治療、抗がん剤治療なども学ぶ。

小 児 科

「1. 小児科専門医コース」、「2. 小児神経科専門医コース」の2コース合計で、定員1名。

1. 小児科専門医コース

※「①岡山済生会総合病院の単独」、「②岡山大学病院（小児科）と共同」の2コース有。

期 間

3年

研修担当者名

田中弘之 診療部長

共同研修施設名

岡山大学病院（小児科）

研修プログラムの目指すもの

① 岡山済生会総合病院の単独コース

小児科診療全般の幅広い知識・技術を身に付けた医師を目指す。特に先天異常、内分泌・代謝性疾患、障害児医療、血液疾患、悪性腫瘍、免疫・アレルギー疾患、心身医学等の診療に精通し、小児科専門医になることが可能なコースである。

② 岡山大学医学部附属病院（小児科）と共同コース

小児科診療全般の幅広い知識・技術を身に付けた医師を目指す。特に先天異常、内分泌・代謝性疾患、感染症、腎疾患、循環器疾患、障害児医療、血液疾患、悪性腫瘍、免疫・アレルギー疾患、心身医学等の診療に精通し、小児科専門医になることが可能なコースである。

研修する医師に期待すること

初期研修では、基本的・系統的思考能力を磨いておくこと。
各種画像診断を習得しておくことが望ましい。

研修プログラム

① 岡山済生会総合病院の単独コース

1年目	2年目	3年目
岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院
小児科一般	小児科一般 Subspecialty	Subspecialty およびその臨床研究 小児科一般

② 岡山大学医学部附属病院（小児科）と共同コース

1年目	2年目	3年目
岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院	岡山大学病院 (小児科)
小児科一般	小児科一般 Subspecialty	Subspecialty およびその臨床研究 小児科一般

修得できる専門医資格

小児科専門医

指導体制：

① 岡山済生会総合病院 指導医

- ・田中弘之（大阪大学 昭和 55 年卒）：小児科学会専門医、内分泌代謝科（小児科）専門医
- ・富山佳江（岡山大学 平成 7 年卒）：小児科学会専門医
- ・伊藤周代（岡山大学 平成 8 年卒）：小児科学会専門医
- ・井上英雄（岡山大学 昭和 42 年卒）：小児科学会専門医、指導医
小児神経科学会専門医、指導医

② 岡山大学医学部附属病院（小児科） 指導医

- ・森島恒雄（名古屋大学大学院 54 年終了）：小児科専門医、指導医。日本感染症学会認定医

年度毎の症例数

岡山済生会総合病院 症例数 年間入院患者実数 : 1年 約 1,350 人
1日平均外来患者数 : 1日 約 90 人

2. 小児神経科専門医コース

※ コースはプログラム（Ⅰ）、（Ⅱ）より選択できる。

期 間

4 年

研修担当者名

田中弘之 診療部長

共同研修施設名

岡山大学病院（小児神経科）

研修プログラムの目指すもの

小児科診療全般の幅広い知識・技術を身に付け、小児科専門医を習得し、さらに小児神経科専門医になることが可能なコースである。

研修する医師に期待すること

初期研修では、基本的・系統的思考能力を磨いておくこと。

各種画像診断を習得しておくことが望ましい。

英会話を修練すること。

研修プログラム（Ⅰ）

1 年目	2 年目	3 年目	4 年目
岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院	岡山大学病院 (小児神経科)
小児科一般	小児科一般 小児神経学一般	小児科一般 小児神経学一般 小児神経学の中の Subspecialty	小児神経学一般 小児神経学の中の Subspecialty およびその臨床研究

研修プログラム（Ⅱ）

1 年目	2 年目	3 年目	4 年目
岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院	岡山大学病院 (小児神経科)	岡山大学病院 (小児神経科)
小児科一般	小児科一般 小児神経学一般	小児科一般 小児神経学一般 小児神経学の Subspecialty	小児神経学一般 小児神経学の Subspecialty およびその臨床研究

修得できる専門医資格

小児科専門医

小児神経科専門医

指導体制：

- ・ 田中弘之（大阪大学 昭和 55 年卒）：小児科学会専門医、内分泌代謝科（小児科）専門医

岡山大学医学部附属病院（小児神経科） 指導医

- ・ 大塚頌子（岡山大学 昭和 46 年卒）：小児科学会専門医・指導医

小児神経科学会専門医・指導医

日本てんかん学会専門医・指導医

日本臨床神経生理学会専門医・指導医

整 形 外 科

「1. 整形外科基本修得コース」、「2. 整形外科専門医コース」の2コース合計で、定員3名。

1. 整形外科基本修得コース

期 間

2～3年

研修担当者名

林 正典 整形外科診療部長



研修プログラムの目指すもの

整形外科全般の幅広い知識・技術を身に付けた医師を目指す。特に外傷・手の外科・膝関節外科は症例数が多く、重点的に研修できる。

研修する医師に期待すること

初期研修では基本的な整形外科知識・技術を習得しておいて欲しい。

研修プログラム

1年目	2～3年目
岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院
整形外科一般	ある程度専門性を持った研修
簡単な手術の執刀（指導医の元）	外傷・手の外科・膝関節外科の手術の執刀（指導医の元）

修得できる専門医資格

日本整形外科学会専門医資格修得に要する後期研修4年のうち前半2年をクリアできる。

日本手の外科学会専門医資格修得に要する研修1年をクリアできる。

指導体制：

岡山済生会総合病院 指導医

- ・ 林 正典（岡山大学 昭和59年卒）：日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会スポーツ医
日本リハビリテーション学会臨床認定医

- ・今谷潤也（香川大学 昭和 63 年卒）：日本整形外科学会専門医
日本手の外科学会専門医
日本整形外科学会運動器リハビリテーション医
- ・川上幸雄（岡山大学 平成元年卒）：日本整形外科学会専門医・スポーツ医・リウマチ医・
脊椎脊髄病医
- ・森谷史朗（久留米大学 平成 11 年卒）：日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会運動器リハビリテーション医
- ・近藤秀則（自治医科大学 平成 12 年卒）：日本整形外科学会専門医

年度毎に 1 医師が経験できる症例数（手術数）とその内訳

手術数：約 330 例（岡山済生会病院）

内訳 外傷－100 例
手の外科－120 例
膝関節外科－鏡視下手術・人工膝関節手術を中心に 80 例
脊椎その他－30 例

2. 整形外科専門医コース

期 間

4年

研修担当者名

林 正典 整形外科診療部長

共同研修施設名

倉敷第一病院

研修プログラムの目指すもの

整形外科全般の幅広い知識・技術を身に付けた医師を目指す。特に外傷・手の外科・膝関節外科は症例数が多く、重点的に研修できる。また、それらを地域医療に生かす。

研修する医師に期待すること

初期研修では基本的な整形外科知識・技術を習得しておいて欲しい。

研修プログラム

1年目	2年目
岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院
整形外科一般 簡単な手術の執刀（指導医の元）	ある程度専門性を持った研修 外傷・手の外科・膝関節外科の手術の執刀（指導医の元）

3年目	4年目
倉敷第一病院	倉敷第一病院
整形外科一般 岡山済生会病院での経験を生かし、実践で応用する	整形外科一般 岡山済生会病院での経験を生かし、実践で応用する

修得できる専門医資格

日本整形外科学会専門医資格修得に要する後期研修4年をクリアできる。

日本手の外科学会専門医資格修得に要する研修1年をクリアできる。

指導体制：

岡山済生会総合病院 指導医

- ・ 林 正典（岡山大学 昭和 59 年卒）：日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会スポーツ医
日本リハビリテーション学会臨床認定医
- ・ 今谷潤也（香川大学 昭和 63 年卒）：日本整形外科学会専門医
日本手の外科学会専門医
日本整形外科学会運動器リハビリテーション医
- ・ 川上幸雄（岡山大学 平成元年卒）：日本整形外科学会専門医・スポーツ医・リウマチ医・
脊椎脊髄病医
- ・ 森谷史朗（久留米大学 平成 11 年卒）：日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会運動器リハビリテーション医
- ・ 近藤秀則（自治医科大学 平成 12 年卒）：日本整形外科学会専門医

倉敷第一病院 指導医

- ・ 佐藤和道（神戸大学 昭和 59 年卒）：日本整形外科学会専門医

年度毎に 1 医師が経験できる症例数（手術数）とその内訳

手術数：約 330 例（岡山済生会病院）

内訳 外傷－100 例
手の外科－120 例
膝関節外科－鏡視下手術・人工膝関節手術を中心に 80 例
脊椎その他－30 例

手術数：約 250 例（倉敷第一病院）

整形外科全般

泌 尿 器 科

泌尿器科専門医コース

期 間

4 年

定 員

1 名

研修責任者名

赤澤信幸 診療部長

研修プログラムの目指すもの

泌尿器科診療全般に幅広い知識・技術をもった医師を目指す。

基本的には、日本泌尿器科学会の泌尿器科専門医研修目標を達成することとする。

また、希望により、腎センター研修、麻酔科研修、緩和医療研修も可能である。

参加する医師に期待すること

一般社会人としての、常識を備えた人を希望します。

チーム医療が基本であり、それに沿った行動の出来る医師を望みます。

後期研修プログラム

1 年目	2 年目	3 年目	4 年目
岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院
泌尿器科	泌尿器科	泌尿器科	泌尿器科

修得できる専門資格

日本泌尿器科学会専門医（4年間のコース終了後）

指導体制：

- ・ 赤澤信幸（日本医科大学 昭和 52 年卒）：日本泌尿器科学会専門医・指導医
日本性機能学会専門医
ICD
- ・ 倉繁拓志（鹿児島大学 平成 10 年卒）：日本泌尿器科学会専門医
- ・ 瀬野祐子（岡山大学 平成 12 年卒）：日本泌尿器科学会専門医

年度毎に1人医師が経験できる症例数と内訳

手術	件数	経験目標件数(4年間)
副腎摘出術	3	10
腎摘徐術	7	25
腎尿管全摘術	8	30
腹腔鏡下手術	6	20
膀胱全摘術	4	15
尿路変更術	4	15
前立腺全摘術	26	80
経尿道的膀胱腫瘍切除術	60	200
経尿道的前立腺切除術	23	80
包茎手術	10	30
ESWL	66	200
前立腺生検	189	500
その他	50	200

脳 神 経 外 科

脳神経外科研修プログラム（専門医取得コース）

※「①岡山大学と共同コース」、「②香川大学と共同コース」、「③大阪市立大学と共同コース」の3コース有。2011年発足の日本脳神経外科学会認定の新研修プログラム制度である。

期 間

4年（当院2-4年+各大学プログラム内研修）

定 員

2名

指導管理責任者名

中島 正明 医長

共同研修施設名

- ① 岡山大学脳神経外科（伊達 勳教授）
- ② 香川大学脳神経外科（田宮 隆教授）
- ③ 大阪市立大学脳神経外科（大畑 建治教授）

研修プログラムの目指すもの

- 岡山大学、香川大学、大阪市立大学と共同コース

このプログラムは4年間の後期研修プログラムで専門医取得を目指す。岡山済生会総合病院を中心とした研修で、脳神経外科専門医として必要な知識、技術、資質を習得することを目的としたものである。脳腫瘍、てんかん手術、定位脳手術（パーキンソン病）、脳血管内手術、頭蓋底手術、脊椎脊髄手術など幅広い症例経験のために、上記大学での研修も含まれる。博士号取得を目的とした研究に従事する場合は、各大学大学院に入学する。

研修プログラムの内容

1年目	2年目	3年目	4年目
基本的知識・検査 基本的手術 頭部外傷手術	脳内出血手術 血管吻合の練習	マイクロ基本手技 血行再建手術 脊椎手術	脳動脈瘤手術 脳腫瘍手術 脊椎手術
岡山済生会総合病院		岡山済生会総合病院、各大学プログラム	

1 年目：脳神経外科の基本習得

- 基本的検査の習得（CT、MR 等の判読、脳血管撮影、脊髓腔造影、神経根ブロック）
- 術前後の全身管理
- 基本的手術の習得（開閉頭、慢性硬膜下血腫、脳室ドレナージ、シャント手術、頭蓋形成術、脊椎手術、基本的血管内手術、経皮的セメント手術）

2 年目：基本的手術手技の自己訓練（血管吻合の訓練）

- 基本的手術の習得（外傷性頭蓋内血腫、脳内出血の顕微鏡手術、定位的脳手術、開頭血腫除去術、後頭下開頭、顕微鏡下シルビウス裂開放、腰椎椎間板ヘルニア摘出）
- 高度手術の助手（脳動脈瘤、脊椎手術、内頸動脈内膜剥離術 CEA、Bypass 手術 etc.）

3 年目：手術手技の習得（顕微鏡手術の訓練：脳動脈瘤クリッピング、良性脳腫瘍、CEA で頸部の剥離展開、Bypass 手術の血管剥離、頸椎椎弓形成術）

4 年目：脳神経外科手術全般の執刀、専門医試験の準備

5 年目：最短 5 年目で、専門医受験可能。

(研修後の方針)

3-5 年目の研修は、各大学プログラムでの研修も含まれる。研究希望の場合は、各大学大学院に入学して、研究に従事する。

修得できる専門医資格

日本脳神経外科学会専門医

日本脳卒中学会専門医

日本脊髄外科学会専門医

日本頭痛学会専門医

日本神経内視鏡学会専門医

指導体制：

① 岡山済生会総合病院 指導医

	脳神経外科学会専門医	脳卒中学会専門医	脊髄外科学会専門医
中島正明（岡山大学 平成 5 年卒）	◎	◎	◎
高橋健治（長崎大学 平成 5 年卒）	◎	◎	
伊勢田恵一（岡山大学 平成 7 年卒）	◎		
後藤浩之（自治医科大 平成 15 年卒）	◎		

当科の特徴は、頭蓋内疾患に限らず脊椎脊髄疾患、末梢神経疾患の外科的治療（中四国一の症例数）と鍵穴手術を積極的に行っています。年間の総手術件数は約 300 件で、脳腫瘍、脳動脈瘤、AVM といった major surgery が約 50 件、脊椎脊髄・末梢神経手術は中四国地方の脳神経外科施設では最多症例数で約 160 件です。また、緊急手術も多数実施しています。当科は上記以外にも特色ある手術的・保存的治療を多数行っています。脊椎圧迫骨折に対するセメント手術（中四国一の症例数）、頸椎・腰椎疾患に対する選択的神経根ブロック治療、手足のしびれ専門外来、慢性頭痛に対する漢方専門外来などです。

当科で研修することで、脳神経疾患、脊椎脊髄疾患、末梢神経疾患の外科的・保存的治療の技術習得が可能となり、幅広い基本的技術を習得した、かつ専門性の高い脳神経外科医として養成されることとなります。手術の執刀は1年目から求められ、手術の出来る脳神経外科医として養成されます。

② プログラム基幹施設の特徴

1. 岡山大学脳神経外科（伊達 勲教授）：神経再生医療、脳動脈瘤、脳腫瘍、てんかん外科
2. 香川大学脳神経外科（田宮 隆教授）：脳腫瘍の外科、脳低体温治療
3. 大阪市立大学脳神経外科（大畑 建治教授）：頭蓋底外科、脳腫瘍、脊椎脊髄外科

年度毎に1研修医師が経験できる症例数（手術数）とその内訳

① 岡山済生会総合病院脳神経外科での症例数：

手術症例数：約300例

（内訳）：

脳腫瘍	：約20例	血行再建術	：約10例
脳動脈瘤	：約20例	頭蓋内血腫	：約45例
脳動静脈奇形	：約4例		
脊椎脊髄・末梢神経手術	：約160例		

② 岡山大学脳神経外科の年間手術件数：453件

（内訳）：

脳腫瘍	：112例	脳血管障害	：137例
外傷	：21例	脊椎脊髄	：41例
機能的脳神経外科	：61例	先天奇形・水頭症	：43例

ホームページ：<http://neuro.hospital.okayama-u.ac.jp/index.html>

③ 香川大学脳神経外科の年間手術件数：294件

（内訳）：

脳腫瘍	：64例	脳血管障害	：16例
外傷	：13例	脊椎脊髄	：19例
機能的脳神経外科	：15例	脳血管内手術	：92例

ホームページ：<http://www.kms.ac.jp/~neuron/index.html>

④ 大阪市立大学脳神経外科の年間手術件数：363件

（内訳）：

脳腫瘍	：123例	脳血管障害	：52例
外傷	：15例	脊椎脊髄	：83例
機能的脳神経外科	：58例		

ホームページ：<http://www.med.osaka-cu.ac.jp/Neurosurg/>

緩和ケア科

緩和医療専門医コース

期 間

5 年

定 員

1 名



研修担当者名

木村秀幸 副院長、ホスピス長

石原辰彦 緩和ケア担当主任医長

蓮尾英明 緩和ケア担当副医長

研修プログラムの目指すもの

がん診療に関する幅広い知識を持ち、緩和ケア病棟や緩和ケアチームで活躍できる医師となることを目標とする。

日本緩和医療学会緩和医療専門医研修カリキュラムを基本として研修を行い、専門医として必要な資質、態度、能力を獲得する。特に緩和医療は多職種チームで行われることが多いため、チームのマネジメントやコンサルテーション対応などの幅広い能力が求められる。

研修する医師に期待すること

緩和ケアは、がん患者の抱える全人的苦痛の緩和が目的であり、家族をも含めてケアを提供するため、幅広いがん診療の知識と人間性が要求される。

研修プログラム

1 年目は日本内科学会認定内科医の取得を目標とし、内科での研修を行う、その後、緩和ケア病棟、緩和ケアチーム、腫瘍関連科での研修を行い、緩和医療専門医取得を目指す。

必修分野：緩和ケア科、内科

選択分野：内科（呼吸器、消化器）、外科（乳腺、呼吸器、消化器）、麻酔科、放射線科、婦人科、泌尿器科など

* 基本診療科の専門医（認定医）を取得済み（取得見込み）の医師の場合は、1 年目の内科ローテートを省略することができる。

研修プログラム例

1年次	2年次	3年次	4年次・5年次
内科 (ローテート)	緩和ケア科 (病棟中心)	内科(呼吸器) 外科(乳腺)、麻酔科	緩和ケア科 (病棟、外来、緩和ケアチーム)

修得できる専門医資格

日本緩和医療学会 緩和医療専門医

日本内科学会 認定内科医

日本がん治療認定医機構 がん治療認定医

指導体制：

- ・ 木村秀幸 (岡山大学 昭和 47 年卒) : 日本緩和医療学会 暫定指導医
日本臨床腫瘍学会 暫定指導医
日本外科学会 認定医・専門医・指導医
- ・ 石原辰彦 (自治医科大学 昭和 63 年卒) : 日本緩和医療学会 暫定指導医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
日本内科学会 認定内科医
- ・ 蓮尾英明 (関西医科大学 平成 15 年卒) : 日本心療内科学会 専門医
日本内科学会 認定内科医

年度毎に1医師が経験できる症例数(手術数)とその内訳

症例数：約 200 例

内 訳：緩和ケア病棟入院患者数約 200 例

麻 醉 科

麻醉科専門医コース

期 間

5 年

定 員

3 名

研修責任者

小林洋二 診療部長



共同研修施設名

岡山大学大学院医歯薬総合研究科麻醉・蘇生分野（岡山大学病院）

研修プログラムの目標

手術中の麻醉および集中治療室での治療経験を通してあらゆる患者の専門的な全身管理（救急救命処置を含む）ができることを目指す。

麻醉を担当することにより、患者の適切な術前・術中・術後管理を経験する。

麻醉で修得した知識・技術を救急および集中治療室での患者管理に活かす。

⇒ 麻醉および集中治療室での患者管理を通して専門的な全身管理を修得する。

希望によりペインクリニックの研修を提供できる体制がある。

研修する医師に期待すること

医師として、一般社会人として、常識を備え協調性のある人を望みます。

研修プログラム

1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目
岡山済生会病院	岡山済生会病院 または大学病院	岡山済生会病院 または大学病院	岡山済生会病院 または大学病院	岡山済生会病院 または大学病院
麻醉・集中治療	麻醉・集中治療	麻醉・集中治療	麻醉・集中治療	麻醉・集中治療

*1

*2

*3

*1 麻醉科学会認定医取得可能

*2 麻醉科学会専門医取得可能

*3 集中治療医学会専門医取得可能

** 希望により大学院への進学も可能

共同研修施設待遇

岡山大学麻酔科関連病院で研修

詳細は相談の上決定

取得できる専門医資格

麻酔科標榜医

日本麻酔科学会認定医

日本麻酔科学会専門医

日本麻酔科学会指導医

日本集中治療医学会専門医

ペインクリニック学会認定医

(ただし認定医・専門医取得には研修期間、学会入会などの条件があります)

指導医と指導資格

* 指導スタッフ 計6名 (+大学からの応援医師1ないし2名)

麻酔科学会指導医 4名

麻酔科学会認定医 2名

集中治療医学会専門医 2名

ペインクリニック学会認定医 1名

年間症例数

年間手術件数 約6,000例 (うち麻酔科管理症例数 約3,000例)

1年間で経験できる麻酔症例 約400~500例

備 考

- * 当院の手術件数は県下でもトップクラスを誇っており、消化器外科を中心にほとんどの手術の麻酔が経験できます。
- * 集中治療室入室患者数は年間約1,200例で、様々な患者管理を経験できます。
- * 当院で研修不可能な分野(開心術など)は大学病院などで研修できる体制があります。
- * 希望により大学病院以外の関連病院で研修することも可能です。

放射線科

「1. 放射線科専門医コース」、「2. 放射線科基本習得コース」の2コースで、定員1名。

1. 放射線科専門医コース

期 間

5年

研修責任者

戸上 泉 診療部長

共同研修施設名

岡山大学病院放射線科（金澤 右教授）



研修プログラムの目標

- ・放射線科ではCT、MRI、核医学などの各種画像診断および画像診断の知識を基礎とした放射線治療、インターベンショナルラジオロジー（IVR）などの低侵襲的治療を行う。
- ・専門的な診断・治療を行うためには、放射線科専門医の取得が必須で、研修3年で認定医試験、研修5年で専門医（診断または治療）試験の受験資格が得られる。
- ・卒後臨床研修終了後の2-3年間は当院で研修を行い、認定医試験の受験に備える。研修内容としては、CT、MRI、核医学を中心とする画像診断の習得は必須で、放射線治療、IVRの研修も行う。
- ・研修後期の2-3年間は岡山大学病院にて行うが、画像診断+IVRの放射線診断コースと放射線治療コースのサブスペシャリティにわかれて、放射線科専門医を取得する。

研修する医師に期待すること

コメディカルや他科との医師と円滑な関係がもてることが必須条件です。さらにいえば医師としての幅の広い人間性、前向きで謙虚な態度の持ち主が理想的です。

研修プログラム

初期2-3年間：（原則的に）岡山済生会総合病院にて研修

- 1) 各種画像診断法の原理・安全管理・利点欠点・適応について習熟
- 2) 種々の疾患の診断とわかりやすいレポートの作成
- 3) 消化管撮影、血管造影、画像ガイド下生検などの技術の習得
- 4) 放射線治療の計画と患者管理

後期2-3年間：（原則的に）岡山大学病院にて研修

A. 放射線診断コース

- 1) 各種画像診断の診断が可能で、完成したレポートの作成
- 2) 医学部学生、研修医の読影指導の補助
- 3) IVR の術者として検査、治療の施行

B. 放射線治療コース

- 1) 放射線治療の治療計画の施行
- 2) 放射線治療の入院患者の主治医として患者管理が可能

修得できる専門医資格

日本医学放射線学会放射線科専門医
日本 IVR 学会専門医
日本核医学会核医学専門医
健診マンモグラフィ読影医

指導体制

岡山済生会総合病院 指導医

- ・戸上 泉（岡山大学 昭和 58 年卒）：日本医学放射線学会放射線科専門医
健診マンモグラフィ読影医
- ・安井光太郎（岡山大学 昭和 62 年卒）：日本医学放射線学会放射線科専門医
日本 IVR 学会専門医
日本核医学会認定医
日本がん治療認定医・暫定教育医
- ・石原節子（岡山大学 昭和 63 年卒）：日本医学放射線学会放射線科専門医
健診マンモグラフィ読影医
- ・守都常晴（岡山大学 平成 2 年卒）：日本医学放射線学会放射線科専門医
日本放射線腫瘍学会認定医
日本がん治療認定医
健診マンモグラフィ読影医
- ・長谷川明（岡山大学 平成 6 年卒）：日本医学放射線学会放射線科専門医
健診マンモグラフィ読影医
日本核医学会専門医・PET 核医学認定医

岡山大学病院放射線科：全員日本医学放射線学会専門医

金澤 右（教授）、佐藤修平（准教授）、清 哲朗（講師）

2. 放射線科基本習得コース

期 間

1-2 年

研修担当者名

戸上 泉 診療部長

研修プログラムの目標

- ・放射線科では CT、MRI、核医学などの各種画像診断および画像診断の知識を基礎とした放射線治療、インターベンショナルラジオロジー（IVR）などの低侵襲的治療を行う。
- ・卒後臨床研修終了後の 1-2 年間で当院で研修を行い、画像診断の基本的な研修を行う。
- ・研修内容としては、CT、MRI、核医学を中心とする画像診断の習得は必須で、希望に応じて放射線治療、IVR の研修も行う。

研修プログラム

岡山済生会総合病院にて研修

- 1) 各種画像診断法の原理・安全管理・利点欠点・適応について習熟
- 2) 種々の疾患の診断とわかりやすいレポートの作成

希望があれば

- 3) 消化管撮影、血管造影、画像ガイド下生検などの技術の習得
- 4) 放射線治療の計画と患者管理

修得できる専門医資格

健診マンモグラフィ読影医

指導体制

岡山済生会総合病院 指導医

- ・戸上 泉（岡山大学 昭和 58 年卒）：日本医学放射線学会放射線科専門医
健診マンモグラフィ読影医
- ・安井光太郎（岡山大学 昭和 62 年卒）：日本医学放射線学会放射線科専門医
日本 IVR 学会専門医
日本核医学会認定医
日本がん治療認定医・暫定教育医
- ・石原節子（岡山大学 昭和 63 年卒）：日本医学放射線学会放射線科専門医
健診マンモグラフィ読影医
- ・守都常晴（岡山大学 平成 2 年卒）：日本医学放射線学会放射線科専門医
日本放射線腫瘍学会認定医
日本がん治療認定医
健診マンモグラフィ読影医

- ・長谷川明（岡山大学 平成6年卒）：日本医学放射線学会放射線科専門医
健診マンモグラフィ読影医
日本核医学会専門医・PET 核医学認定医

年度ごとに1医師が経験できる症例数とその内訳

CT：3000例、MRI：1500例、RI：200例、単純撮影：1000例、マンモグラフィ：300例、血管造影・IVR：150例、放射線治療：50例

備 考

- ・当院はCT、MRI、核医学検査、マンモグラフィの全例と一部の単純撮影の読影をしています。
- ・読影はモニター診断で施行していますので、各個人が専有の端末を有し、当院で施行される画像検査の全例の画像とレポートを参照することが可能です。
- ・広い読影室で読影医が多数いますので、各部門の専門家に気軽にコンサルト可能です。
- ・読影室ではモニターとスクリーンがつながっており、科内や他科とのカンファレンスが頻繁に行われています。
- ・癌拠点病院で特に消化器がんの症例が多く、血管造影・IVR や放射線治療の症例も多数経験可能です。

救 急 科

救急科専門医コース

期 間

3 年

研修担当者

野崎 哲 救急科医長

共同研修施設名

岡山大学病院救急部



研修プログラムの目指すもの

後期研修 3 年間で、救急科専門医の取得をめざす。

- (1) ER physician として軽症から重症まであらゆる診断名不明の救急患者を診察し、素早く患者の緊急度、重症度を把握し、Problem oriented のアプローチにより診断にいたるだけでなく、生命の危機に対しては迅速に回避する処置を行う問題解決能力を養成する。
- (2) Clitical care physician として心肺停止や意識障害、呼吸困難、急性腹症、ショック、重症外傷などの緊急処置を必要とする救急患者さんの診療に優先的にあたり、心肺停止蘇生後や薬物中毒、急性腹症、重症外傷患者については入院後も一貫して治療を行い、重症患者に対する栄養管理、感染症管理、呼吸・循環管理などの集中治療を行う能力を身につける。

研修する医師に期待すること

救急医療は、チーム医療であり、救急専門医はチームリーダーとしての役割を果たすため、技術の向上のみならず大局をみる力を養成することが必要です。さらに他科との協力体制が不可欠であり、協調性を身につけ、幅広い知識を習得することを期待します。瀕死の重症患者が、元気になった姿をみることができるのは、この上ない喜びであり、救急医ならではの醍醐味です。救急に興味のある方は、ぜひ私たちの仲間に加わって下さい。

習得できる専門医資格

日本救急医学会専門医

研修プログラム

主として当院救急センターに常駐し、上級医の指導のもと、受診患者の診察および必要に応じて迅速な蘇生・初期治療・ディスポジション（入院、帰宅、または専門科へのコンサルテーション）を行う。徐々に上級医の関与を減らし、3 年次には指導をうけながら ER の現場を統括する。さらに

心肺停止蘇生後や薬物中毒、重症外傷などの症例では入院後の clitical care を実践する。

3 年間の研修期間のうち、希望により 6 か月間まで、岡山大学救急部で重症および三次救急患者診療について学ぶ。

種々の off the job training により教育する機会、教育される機会とも豊富に経験する。

指導体制：

岡山済生会総合病院 指導医

- ・ 野崎 哲（自治医科大学 平成 6 年卒）：日本救急医学会専門医
日本内科学会認定医
日本医師会認定産業医
日本救急医学会認定 ICLS インストラクター
ISLS 認定ファシリテーター

非常勤医師

- ・ 繁光 薫（岡山大学 平成 3 年卒）：日本外科学会認定医・専門医
日本消化器外科学会専門医
日本救急医学会専門医
日本救急医学会認定 ICLS インストラクター
日本麻酔科学会認定医

岡山大学病院救急部 指導医

- ・ 氏家良人（教授）
- ・ 長野 修（講師）
- ・ 寺戸通久（助手）
- ・ 田中礼一郎（助手）
- ・ 黒田浩光（助手）

岡山済生会総合病院救急センターの年間症例数

救急センター受診患者総数（2009 年度） 30,561 人（内 入院患者 4,069 人）

救急車収容件数（2009 年度） 3,250 件

CPA 症例（2008 年度） 67 例

眼 科

眼科基本習得コース

期 間

2 年

研修担当者

瀬口次郎 診療部長



研修プログラムの目指すもの

眼科の基本的な知識、検査技術、診察技術を身に付け、外眼部の小手術と白内障手術の修得を目指す。眼科専門医受験資格の取得には 1 年間の大学附属病院の眼科での研修が必要であり、2 年目にこれを岡山大学附属病院眼科でおこなう。

研修する医師に期待すること

高い目標と意欲を持つ人材を望む。

後期研修プログラム

1 年目	2 年目
岡山済生会病院	岡山大学眼科
眼科一般	小児眼科など

修得できる専門医資格

日本眼科学会眼科専門医資格修得に要する後期研修 4 年のうち 2 年をクリアできる。

指導体制

岡山済生会総合病院 指導医

- ・瀬口次郎（岡山大学 昭和 56 年卒）：眼科専門医
- ・成田亜希子（鳥取大学 平成 5 年卒）：眼科専門医
- ・岡信宏隆（岡山大学 平成 13 年卒）：眼科専門医

年度毎に 1 医師が経験できる症例数（手術数）とその内訳

	眼科全体年間症例数	1 医師の経験数
白内障手術	約 800 例	約 300 例
緑内障手術	約 120 例	約 70 例
網膜硝子体手術	約 200 例	約 130 例

形 成 外 科

形成外科基本習得コース

期 間

2年

定 員

1名

研修担当者

永瀬 洋 診療部長

研修プログラムの目指すもの

形成外科一般臨床例に対する幅広い知識と基本的な技術の習得を目指す。

4年後の専門医取得のための基礎を築く。

研修する医師に期待すること

初期研修での基本事項を基にあらゆる事項に対してバランスのとれた考え方をしてもらいたい。手術だけでなくすべてが共同作業（チーム医療）であることを認識した上で行動してもらいたい。

研修プログラム

1年目	2年目
岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院
救急を含めた「創処置縫合法」各種手術の助手症例によって指導医のもと術者となる。 （皮膚腫瘍、顔面以外の植皮、単純な顔面骨折、採皮および採皮部の創閉鎖、小皮弁、瘢痕形成、陥入爪、腋臭症、切断指など）	左記手術の術者を務めるとともに、さらに上級手術の術者を目指して研鑽を積む。マイクロサージェリを含めた悪性腫瘍野傷の再建、複雑な顔面骨折、高度な皮弁、唇顎口蓋裂などの先天性疾患、難治性潰瘍、褥瘡、美容的手術の部分的術者または術者を務める。

* 1-2年を通じて岡山大学主催の研修会・講習会・研究会には積極的に参加

微小血管吻合手技の基礎練習（ラット）にも自発的に参加

3年目以降は岡山大学形成再建外科における研修プログラムに従い専門医取得を目指す。

希望により大学院進学も可能である。

習得できる専門医資格

日本形成外科学会専門医資格取得に要する後期研修4年間のうちの2年を満たす

指導体制：

日本形成外科学会専門医

永瀬 洋（診療部長：岡山大学 昭和53年卒）

岡山済生会総合病院形成外科の年間症例数

手術件数 約900例

レーザー症例数 約1200例

内訳：新鮮熱傷 40例

顔面骨折 40例

先天性疾患 50例

母斑・良性腫瘍 400例

悪性腫瘍および再建 30例

瘢痕拘縮・ケロイド 40例

褥瘡・難治性潰瘍 50例

救急外傷 100例

その他・美容外科 150例

年度毎に1医師が経験できる症例数とその内訳

手術数：約400例以上

レーザー：約500例

産婦人科

産婦人科専門医コース

期 間

3年

定 員

1名

研修責任者

坂口幸吉 診療部長

研修プログラムの目指すもの

このプログラムは3年間の後期研修プログラムで岡山済生会総合病院産婦人科で産婦人科専門医として必要な知識、技術を習得することを目的としたものである。

研修プログラム

1年目	2年目	3年目
岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院	岡山済生会総合病院
基本的診察、検査、治療、正常分娩、吸引分娩、帝王切開術	帝王切開の執刀、良性疾患の執刀	悪性卵巣疾患、悪性子宮疾患の治療

取得できる専門医資格

日本産婦人科学会専門医

指導体制

岡山済生会総合病院産婦人科指導医

坂口幸吉（岡山大学 昭和52年卒）：日本産科婦人科学会認定医・専門医

母体保護法指定医

平野由紀夫（川崎医科大学 昭和60年卒）：日本産科婦人科学会認定医・専門医

日本産婦人科内視鏡学会技術認定医

日本内視鏡外科学会技術認定医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

母体保護法指定医

小池浩文（愛媛大学 昭和62年卒）：日本産科婦人科学会認定医・専門医

政廣聡子（岡山大学 平成 14 年卒）：日本産科婦人科学会認定医・専門医

概要、年間症例数

岡山済生会総合病院産婦人科は、日本産婦人科学会専門医研修施設に認定されており、当院で3年間の研修を積むことで日本産婦人科学会専門医試験の受験資格が得られます。

産婦人科病床数は32床であり、2010年の平均在院日数は8.6日であった。分娩数は234件で内帝王切開は64件であった。手術件数は332件であり、子宮の手術107件、卵巣の手術60件、帝王切開64件、卵管の手術8件、膣の手術7件、外陰の手術3件であった。子宮の手術のうち腹腔鏡下手術7件であった。悪性疾患は48件であり、子宮頸癌12件、子宮体癌12件、子宮肉腫2件、卵巣癌21件、腹膜癌1件であった。外来患者は1日平均49.8名であり、各診療室に超音波装置、コルポスコープが設置され、積極的な検査が行われている。

2. その他のプログラム

(1) 岡山大学医学部歯学部附属病院の後期研修プログラムにおいて、岡山済生会総合病院に関連するプログラム

- ・内 科
- ・小児科
- ・産婦人科
- ・皮膚科
- ・泌尿器科
- ・形成外科
- ・眼 科
- ・耳鼻咽喉科
- ・脳神経外科
- ・精神神経科
- ・放射線科
- ・緩和ケア科
- ・麻酔科
- ・救急科

(2) 済生会後期臨床研修プログラム

2. その他のプログラム

※岡山大学医学部歯学部附属病院の後期研修プログラムにおいて、岡山済生会総合病院に関連するプログラム

※研修の詳細は岡山大学医学部歯学部附属病院までお問い合わせください。

【内科】

1. 岡山大学大学院 消化器内科専門医共同コース（6年）
 - ・ 卒後3年目～5年目を関連病院（当院含む）研修。
2. 岡山大学大学院 腎臓透析専門医共同コース（3年）
 - ・ 腎臓（臨床コース）…卒後3年目～5年目を関連病院（当院含む）研修。
 - ・ 透析（臨床コース）…卒後3年目～5年目を関連病院（当院含む）研修。
 - ・ 腎臓・透析（大学院コース）…卒後4～5年目を関連病院（当院含む）研修。
3. 岡山大学大学院 呼吸器内科専門医研修コース（7年）
 - ・ 卒後4年目～5年目を関連病院（当院含む）研修。
4. 岡山大学大学院 糖尿病専門医コース（3年）
 - ・ 糖尿病1（臨床コース）…卒後3年目～4年目を関連病院（当院含む）研修。
5. 岡山大学神経内科 後期研修プログラム（3年）
 - ・ 内科研修重点 Bコース…卒後4年目～卒後5年目を関連病院（当院含む）研修。
 - ・ 神経内科重点 Eコース…卒後5年目を関連病院（当院含む）研修。

【小児科】

1. 岡山大学小児科 後期研修コース（3年）
 - ・ 卒後3年目～5年目を関連病院（当院含む）研修。

【産婦人科】

1. 岡山大学産婦人科研修システム（5年）
 - ・ A-1コース…卒後3.5年目～4.5年目を関連病院（当院含む）研修。
 - ・ A-2コース…卒後3年目～4.5年目を関連病院（当院含む）研修。

【皮膚科】

1. 岡山大学皮膚科専門医取得5年コース
 - ・ 卒後5年目～6年目を当院にて研修。

【泌尿器科】

1. 岡山大学病院、岡山済生会病院・泌尿器科専門医コース（4年）
 - ・ 卒後3年目～4年目を当院にて研修。

【形成外科】

1. 岡山大学形成外科専門医コース

【眼科】

1. 岡山大学病院・関連病院・眼科後期研修コース（5年）
 - ・ 卒後4年目～7年目を関連病院（当院含む）研修。
2. 岡山大学病院・関連病院・大学院臨床専門医コース入学（4年）
 - ・ 卒後4年目～6年目を関連病院（当院含む）研修。

【耳鼻咽喉科】

1. [岡山日赤病院、香川県中、香川労災、その他グループ]・岡大大学院・耳鼻咽喉、頭頸部外科共同コース（5年）
 - ・ 卒後4年目～7年目を関連病院（当院含む）研修。

【脳神経外科】

1. 岡山大学医学部・歯学部附属病院及び共同研修施設脳神経外科コース（5年）
 - ・ 卒後3年目～4年目を関連病院（当院含む）研修。

【精神神経科】

1. 岡大精神科関連病院群コース（4年）
 - ・ A-Bコース…卒後6年目を関連病院（当院含む）研修。
 - ・ B-Aコース…卒後4年目を関連病院（当院含む）研修。

【放射線科】

1. 岡山大学病院 放射線科5年コース（5年）
 - ・ 卒後4～5年目（変更可能）を関連病院（当院含む）研修。

【緩和ケア科】

1. 岡山大学病院総合診療内科・内科学会認定専門医養成コースA（4年）
 - ・ 卒後4年目を当院研修。

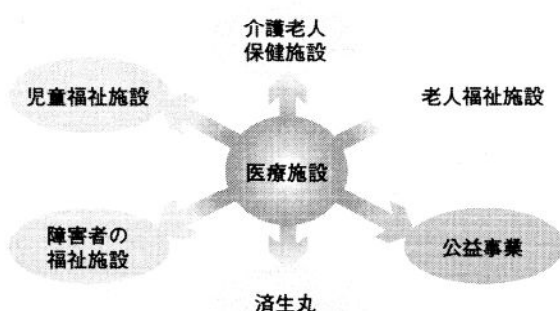
【麻酔科】

1. 岡山大学病院・麻酔科蘇生科コース（5年）
 - ・ 卒後4年目～7年目を関連病院（当院含む）研修。

【救急科】

1. 岡山大学病院・岡大医員・[岡山赤十字病院、福山市民病院、香川県立中央病院]・[岡山済生会病院、倉敷中央病院、姫路聖マリア病院]・救急専門医コース・3年間
・卒後4年目を関連病院（当院含む）研修。
2. 岡山大学病院・岡大大学院・[岡山赤十字病院、福山市民病院、香川県立中央病院]・[岡山済生会病院、倉敷中央病院、姫路聖マリア病院]・救急専門医コース・4年間
・卒後4年目を関連病院（当院含む）研修。

済生会の保険・医療・福祉ネットワーク



済生会では、臨床研修受け入れ体制の充実などにより優秀な若手医師を育成していくことを目的に、グループ内の臨床研修病院40病院（単独型・管理型）で構成する「臨床研修指定病院協議会」（会長＝岡留健一郎・済生会福岡総合病院院長）を設け、さらにグループ内で質の高い後期研修が出来るように協力しあうネットワークを作ることになりました。単独の施設だけで可能なプログラムや、他施設や大学病院との協力の下に完結するプログラムを準備しています。

優秀な医師を育てます

済生会ならびに、各臨床研修病院で構成する協議会は、公的医療機関として、無料低額診療などの福祉事業を行う済生会の理念を理解して頂いた上で、人をいとおしむ心を持った優秀な医師を養成していくことを理念としています。協議会でいろいろな問題点を明らかにしながら、情熱を燃やして働いて頂ける医師をたくさん育てていきたいと考えています。

済生会グループでのスケールメリット

済生会は全国に82病院を保有し、地域医療を中心に行っています。救急医療から保健・福祉にいたるまで連携した医療を行っている団体です。また各専門分野においても先端的な医療を提供しています。協議会ではグループの診療能力を活用して、将来の済生会を担う医師や、診療科専門医、総合医、家庭医など多彩な医師を独自に養成する試みを行うことになりました。各病院が地域の事情に合わせて、単独で行う場合も、大学やグループ内外の他施設と連携してプログラムを完結する仕組みを作りつつあります。

スケールメリットで期待できるシステム

- 専門医資格取得を目指して、全国の済生会病院において得意とする診療分野での研修が可能となるシステム構築を検討しています。
- プライマリ・ケアから高度先進医療まで、研修医のニーズに応じたさまざまな内容の研修プログラムを実現できます。
- 「身分保障」についても、済生会病院へのスタッフ登用も含め、グループ全体でサポートできる体制を検討しています。
- 関連大学の研修プログラムとも連携を可能にすることを検討しています。

協議会に参加する病院

北上済生会病院・山形済生病院・水戸済生会総合病院・宇都宮病院・前橋病院・川口総合病院・栗橋病院・千葉県済生会習志野病院・中央病院・神奈川県病院・横浜市東部病院・横浜市南部病院・新潟第二病院・富山病院・高岡病院・福井県済生会病院・静岡済生会総合病院・愛知県済生会病院・松阪総合病院・滋賀県病院・京都府病院・中津病院・吹田病院・千里病院・野江病院・泉尾病院・富田林病院・中和病院・岡山済生会総合病院・山口総合病院・下関総合病院・松山病院・今治病院・西条病院・福岡総合病院・八幡総合病院・唐津病院・長崎県済生会病院・熊本病院・日田病院

本誌掲載後期研修病院へのお問い合わせ
各病院の詳細は、病院ホームページにアクセスするか電話にてお問い合わせください。

所在地	研修施設	電話番号	ホームページ
岩手	北上済生会病院	0197-64-7722	http://park16.wakwak.com/~saiseikai/
山形	山形済生病院	023-682-1111	http://www.ameria.org/
茨城	水戸済生会総合病院	029-254-5151	http://www.mito-saisei.jp/
栃木	宇都宮病院	028-626-5500	http://www.saimiya.com/
群馬	前橋病院	027-252-6011	http://www.maebashi.saiseikai.or.jp/
埼玉	川口総合病院	048-253-1551	http://www.saiseikai.gr.jp/
	栗橋病院	0480-52-3611	http://www.saikuri.org/
東京	中央病院	03-3451-8211	http://www.saichu.jp/
神奈川	横浜市東部病院	045-576-3000	http://www.tobu.saiseikai.or.jp/
	横浜市南部病院	045-832-1111	http://www.nanbu.saiseikai.or.jp/
	若草病院	045-781-8811	http://www.wakakusa.saiseikai.or.jp/
新潟	新潟第二病院	025-233-6161	http://www.ngt.saiseikai.or.jp/
富山	富山病院	076-437-1111	http://www.saiseikai-toyama.jp/
	高岡病院	0766-21-0570	http://www.takaoka-saiseikai.jp/
石川	金沢病院	076-266-1060	http://www3.nsknet.or.jp/saiseikh/
福井	福井県済生会病院	0776-23-1111	http://fukui-saiseikai.com/
静岡	静岡済生会総合病院	054-285-6171	http://www.siz.saiseikai.or.jp/hosp/
愛知	愛知県済生会病院	052-571-5251	http://www.aichi.saiseikai.or.jp/
三重	松阪総合病院	0598-51-2626	http://www.matsusaka.saiseikai.or.jp/
滋賀	滋賀県病院	077-552-1221	http://www.biwa.ne.jp/~ssh/
京都	京都府病院	075-955-0111	http://www.kyoto.saiseikai.or.jp/
大阪	中津病院	06-6372-0333	http://www.nakatsu.saiseikai.or.jp/
	吹田病院	06-6382-1521	http://www.suita.saiseikai.or.jp/
	千里病院	06-6871-0121	http://www.senri.saiseikai.or.jp/
	野江病院	06-6932-0401	http://www.noe.saiseikai.or.jp/
	泉尾病院	06-6552-0091	http://www.izuo-saiseikai.gr.jp/
	富田林病院	0721-29-1121	http://www.tonbyo.org/
兵庫	兵庫県病院	078-987-2222	http://www.saiseikai.info/
岡山	岡山済生会総合病院	086-252-2211	http://www.okayamasaiseikai.or.jp/
山口	下関総合病院	0832-62-2300	http://www.okayamasaiseikai.or.jp/
香川	香川県済生会病院	087-868-1551	http://www.saiseikai-kagawa.jp/
愛媛	松山病院	089-951-6111	http://db.matsuyama.saiseikai.or.jp/
	今治病院	0898-47-2500	http://www.imabari.saiseikai.or.jp/
	西条病院	0897-55-5100	http://www.saiseikaisaijo.jp/
福岡	福岡総合病院	092-771-8151	http://www.saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp/
	八幡総合病院	093-662-5211	http://www.yahata.saiseikai.or.jp/
	二日市病院	092-923-1551	http://www.saiseikai-futsukaichi.org/
長崎	長崎県済生会病院	095-826-9236	http://www.nsaisei.or.jp/
熊本	熊本病院	096-351-8000	http://www.sk-kumamoto.jp/
大分	日田病院	0973-24-1100	http://saiseikai.hita.oita.jp/